

広報

5

2012/MAY

No.86

しおぼら

Shobara

SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

すくすくと
大きくなつてね

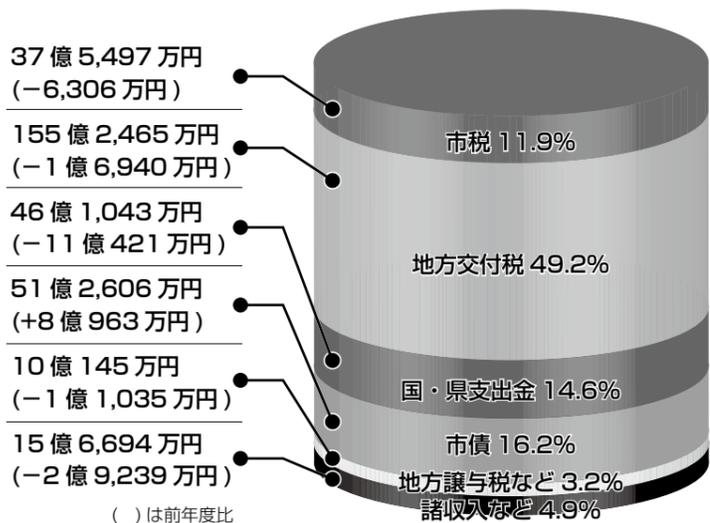
- 2 特集 決定!平成 24 年度予算
- 8 高野に「道の駅」を整備
- 12 庄原中学校校舎完成
- 14 市内7カ所で空間放射線量を測定しています
- 15 シリーズ「私にもできる獣害対策」
- 16 個人住民税併任徴収を実施します
- 17 地域の宝を磨き上げます～nextさとやま博～
- 18 各種相談員があなたの相談をお受けします
- 20 外国人住民の登録制度が変わります
- 21 ふるさと応援寄附金の状況／ふるさと功労賞授与
- 22 自治振興区の再編が進んでいます
- 23 シリーズ「庄原市まちづくり基本条例」/
婚活イベントスタッフ募集
- 24 メール 119 サービス開始／安心・安全な毎日のために
- 25 健康広場「受けて安心・生活習慣病健診」
- 26 市政トピックス 28 カメラレポート 32 お知らせ

端午の節句を前に、市内のあちらこちらで鯉のぼりが上がり始め、子どもたちが鯉のぼりの下で元気に遊ぶ光景を多く目にしました。写真は、西城町小鳥原の鑄鋼和希（いなべかずき）ちゃん（2カ月）と母の真奈美さん。ぼかぼか陽気にウトウトする和希ちゃんでした。

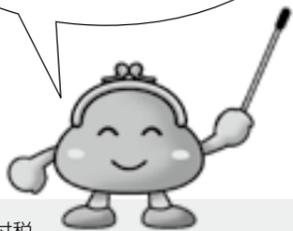
歳入

市税は、市民税が微増するものの、固定資産税や市たばこ税は減収となる見込みです。地方交付税は、公債費（借入金の返済）の減少などにより、前年度と比較して約1.7億円の減額を見込んでいます。市債は、とうじょう自治総合センターや保育所の整備、小・中学校改築事業などの大型事業があるため、前年度比18.8%増となります。

一般会計歳入 315億8,450万円
(-9億2,977万円)



歳入の49.2%は国からの地方交付税で構成されているんだね！地方交付税は、所得税、法人税、消費税、酒・たばこ税の一部がもとになっています！



用語説明

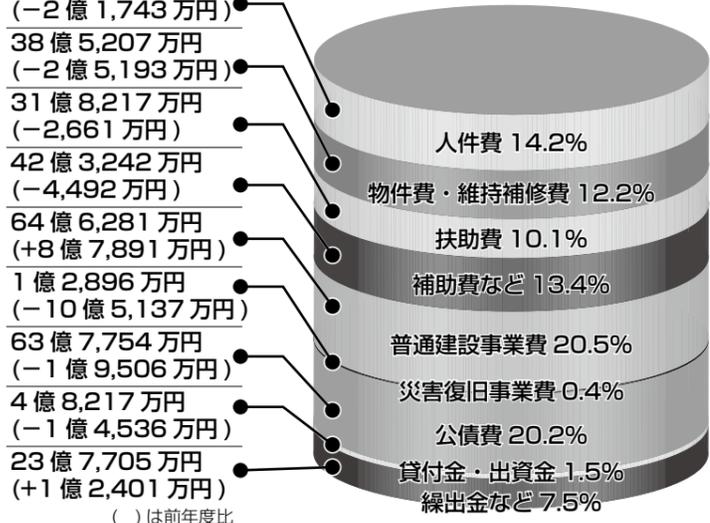
- 地方交付税
所得税、法人税、消費税などの国税収入の一部を国が自治体へ交付します。
- 市債
公共施設整備のための借入金です。主にハード事業に充てられます。
- 諸収入など
保育料、市営住宅使用料、貸付金の返還金、貯金に当たる基金からの繰入金などです。

歳出

扶助費は、障害福祉サービスや保育所に関する事業費が増加しましたが、子ども手当の制度改定により全体では減少しています。

普通建設事業費は、とうじょう自治総合センターや高野観光交流ターミナル「道の駅」(仮称)、庄原保育所・高野保育所(仮称)などの整備が行われることから増額となっています。公債費負担適正化計画による計画的な借入に努めてきたことにより、借入金の返済額(公債費)は減少しています。

一般会計歳出 315億8,450万円
(-9億2,977万円)



返済元金(公債費のうち57億円)に比べて、借入額(歳入の市債51億円)が少ないから、市債の残高が減っていくんだね！



用語説明

- 扶助費
生活保護、子ども手当や高齢者・乳幼児の医療費などです。
- 普通建設事業費
道路、学校、各種公共施設の建設費などです。
- 補助費
各種団体などへの補助金、負担金です。

※「子ども手当」は、平成24年4月分から「児童手当」として支給されます。

決定!平成24年度予算!!

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市の創造に向けて

庄原市の1年間のお金の使い方をまとめた平成24年度予算が決定しました。税収や地方交付税の大幅な減額が見込まれる中、限られた財源を効率的・効果的に活用し、「協働のまちづくり」「安心安全の暮らしづくり」「子育て支援・教育環境の整備」などに重点を置いた予算としました。“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市の創造に向けて、庄原市のお金はどのように使われているのかを、「お財布がまちゃん」と一緒に解説します。

財政課財政係 ☎0824-73-1129

平成24年度の
一般会計予算は **315億8,450万円**

前年度比 **2.9% 減**

予算は1年間の収入と支出の見込みを表したものです。中でも、一般会計は市税や国・県からの支出金などを財源としており、皆さんに最もかかわりの深い予算です。

平成24年度 全会計予算規模

一般会計	福祉、教育、インフラ整備などを進める基本的会計	315億8,450万円(2.9%減)
特別会計	特定事業を進める14会計 (国民健康保険、介護保険、下水道など)	135億9,218万円(1.6%増)
企業会計	市が経営する上水道、西城市民病院の2会計	25億6,951万円(1.5%増)
総額		477億4,619万円(1.4%減)

※金額は万円未満を四捨五入していますので、内訳の合計は必ずしも一致しません。

()は前年度比

市が行う仕事の大部分は一般会計でまかなわれています！
それでは一緒に一般会計の内容について見てみましょう！



お財布がまちゃん

さとやま資源の活用で地域が輝くまち(産業・交流)

未来創造事業

5,368万円

高野観光交流ターミナル「道の駅」(仮称)という、交流人口増加のチャンスをもたらす新たな資源を起爆剤として、農業と観光を基軸とした地域の活性化を目標とし、高野地域の資源活用によるブランド構築や地域ブランドの顧客獲得に向けた道の駅の魅力向上を図ります。



農業生産法人の育成

2,526万円

持続的な農業経営を推進するため、農業生産法人など、多様な農業の担い手を育成し、集落農業や集落の農地の保全・有効利用を進めるとともに、農業外企業による農業法人参入を進めることにより、地域農業の振興を図ります。

市内にある地域資源を十分に活用できるような事業を充実させていくよ!



中心市街地にぎわい再生

2,515万円

「街の顔」としての役割を担う中心市街地のにぎわい再生を目標として、市民参加によるまちづくり活動を積極的に推進し、地域の歴史・文化などの地域資源を活用した中心市街地の活性化を図ります。

- まちなか活性化補助金など

自然との共生で暮らしが輝くまち(環境・基盤・定住)

防災マニュアル・ハザードマップの作成 **新規**

1,176万円

市内で発生する可能性がある災害の情報や防災対策などの情報をまとめた防災マニュアルと、市全域の土砂災害の危険箇所、洪水による浸水想定区域などを掲載したハザードマップを作成し、配布します。



庄原市消費生活センター相談業務

599万円

複雑・多様化して件数も増加傾向にある消費生活相談に対し、相談員を配置して迅速な被害者救済、消費被害の未然防止、消費者教育などの取り組みを一層進め、消費者の生活の安定と向上を図ります。

災害対策の充実や循環型社会の構築を進めることで、安全・安心に暮らしていけるまちづくりを進めます!



住宅用太陽光発電システム設置事業補助金

1,121万円

市内の住宅へ太陽光発電設備を設置する者に対して、経費の一部を助成し、自然エネルギーの利用を促進するとともに、市民の環境保全意識の向上を図ります。

県の補助は23年度で終わりましたが、市が単独で継続します。

重点施策

長期総合計画に基づき、地域の特徴を活かしたまちづくりを進めます

重点戦略プロジェクト

庄原市観光振興総合事業(感動!観光振興プロジェクト) **新規**

4,268万円

庄原市観光協会に市内全域の観光事業を業務委託し、さまざまな取り組みを展開することで、市民が主役の儲ける観光の仕組みをつくりまします。



市は5つの重点戦略プロジェクトを進めています!プロジェクトの中から、新規・拡充事業の一部を紹介いたします!



新規就農者育成事業奨励金(農業自立振興プロジェクト) **拡充**

288万円

市内指定農家などで行う研修期間(2年以内)と研修後1年以内に就農または市内農業生産法人へ就職する者に対し、奨励金を交付します。

重点戦略プロジェクト

- 農業自立振興プロジェクト
- 木質バイオマス活用プロジェクト
- まっとるよ!庄原定住プロジェクト
- 感動!観光振興プロジェクト
- 高野観光交流ターミナル「道の駅」(仮称)の整備

協働の力で笑顔が輝くまち(自治・協働)

地域づくりリーダー育成事業

177万円

市民と行政の協働のまちづくりに不可欠な地域リーダーを、実践的なテーマのもとでの講座・研修を通じて育成します。

- 地域づくり実践研修会の参加補助
- 女性リーダー育成事業など



とうじょう自治総合センター整備事業

5億7,133万円

老朽化した東城文化会館と東城町老人福祉センターを解体し、とうじょう自治総合センターとして建て替え、東城地域の自治振興区活動や生涯学習活動などの拠点として充実を図ります。

今年度内の完成を目標とし、本体工事と備品などの整備を行います。

笑顔が輝くまちづくりを目標に、地域を元気にする取り組みに力を入れます!



地域おこし協力隊

新規

1,190万円

都市部の方を地域おこし協力隊員として地域に受け入れます。隊員の方には、農業活動や特産品開発などを通じ、地域おこしの一員として活動してもらうことで、地域の活性化や定住の促進を図ります。

その他の新規事業

自主防災活動への補助

新規

1,000万円

自主防災組織の設立促進や活動支援などを行い、地域の防災力の向上と防災意識の高揚を図ることを目的に、自主防災組織へ補助金を交付します。



文化施設の整備

新規

1億3,367万円

利用者の利便性向上を図り、より活発に地域振興活動が行えるように、市民会館の空調設備の改修や図書館東城分館の整備を行います。

庄原市学校体験活動事業

新規

90万円

市内の小学校にはない環境・文化をもつ地域(島しょ部など)との体験交流を通して、コミュニケーション能力の向上や豊かな心の育成を図ります。

こだわり米産地育成モデル事業補助金

新規

200万円

消費者が求める低農薬、低化学肥料など、安全・安心な米づくりを基本に、さらにこだわりをもった米を地域ぐるみで栽培するために必要な資材や機械などを支援し、こだわり米の産地を育成します。



文化振興・博物館の充実

新規

372万円

庄原市の郷土・歴史をより深く知ってもらうため、比和自然科学博物館地学分館の開館や庄原市民俗芸能大会の開催を行います。



地学分館完成イメージ図



市が新たに取り組む事業を紹介します!

気になる! 庄原市の市債残高

グラフは各年度末の市債残高(一般会計)を表しています。平成23年度以降は見込みです。

平成24年度末の市債残高の見込みは460.1億円となっています。平成17年度末の574.4億円から比べると114.3億円の減少となる見込みです。

これからも、各年度の市債発行額を抑えて、市債残高を減らすよう計画的な財政運営に努めていきます!



心と体の健康づくりで命が輝くまち(保健・福祉・医療)

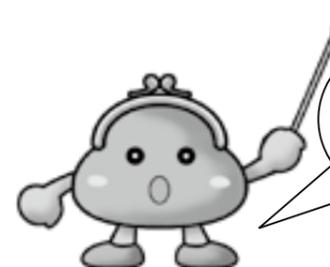
発達支援事業

新規

1,151万円

健康診査や成育のなかで何らかの発達支援や観察が必要な子どもに対しては、専門機関と連携して遊びや集団でのかかわりを通して発達を促します。

また、育児不安のある保護者などの相談に応じ、個別のかかわりや専門的な助言、保護者同士の交流により育児不安の軽減を図ります。



医療や福祉を充実させて、みんなが幸せに暮らしていけるまちづくりを進めていきます!

健康増進の取り組み

5,283万円

各種健診事業への助成や、健康教育・相談などの啓発事業を通じて、市民の健康づくりを推進します。

- 高血圧対策
- 子宮頸がん・大腸がん検診の推進
- 食育推進事業など

休日急患センターの整備

新規

1億円

休日の診療は、参加医療機関の減少や開業医師の高齢化、さらには後継者不足などの現状から、「休日急患センター」を庄原赤十字病院周辺に整備し、休日診療体制を安定的に維持します。

ふるさとを愛する心で人が輝くまち(教育・文化)

庄原中学校改築事業

2億8,463万円

庄原中学校の校舎・屋体(武道場含む)を全面改築(建替)し、安全・安心な学校づくりを図ります。

昨年度の新校舎建築に引き続き、本年度は敷地整備工事や備品購入などを行います。



小学校の整備

4億6,155万円

安全・安心な教育環境を整備するため、小学校の改築工事などを行います。

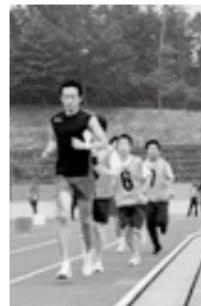
- 【庄原小学校】地質調査、基本設計
- 【美古登小学校】耐震改修工事
- 【東城小学校】改築・解体工事の実施設計、改築工事などへ一部着手
- 【小奴可小学校】プール移転のための地盤調査、さく井工事

スポーツ振興・各種スポーツ大会の開催

4,441万円

健康で活力のある生活を営めるよう、「市民ひとり1スポーツ」の実現を目指して、各種スポーツ活動への参加機会の拡充を図るとともに、小・中学生の競技力の向上に努めます。

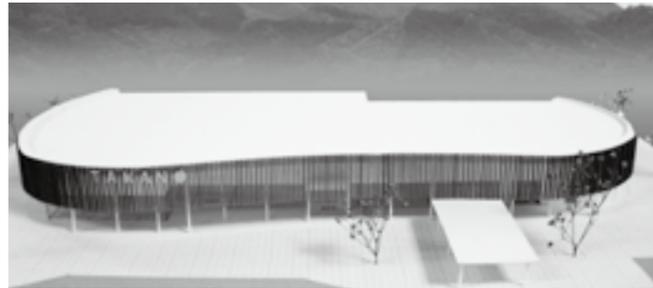
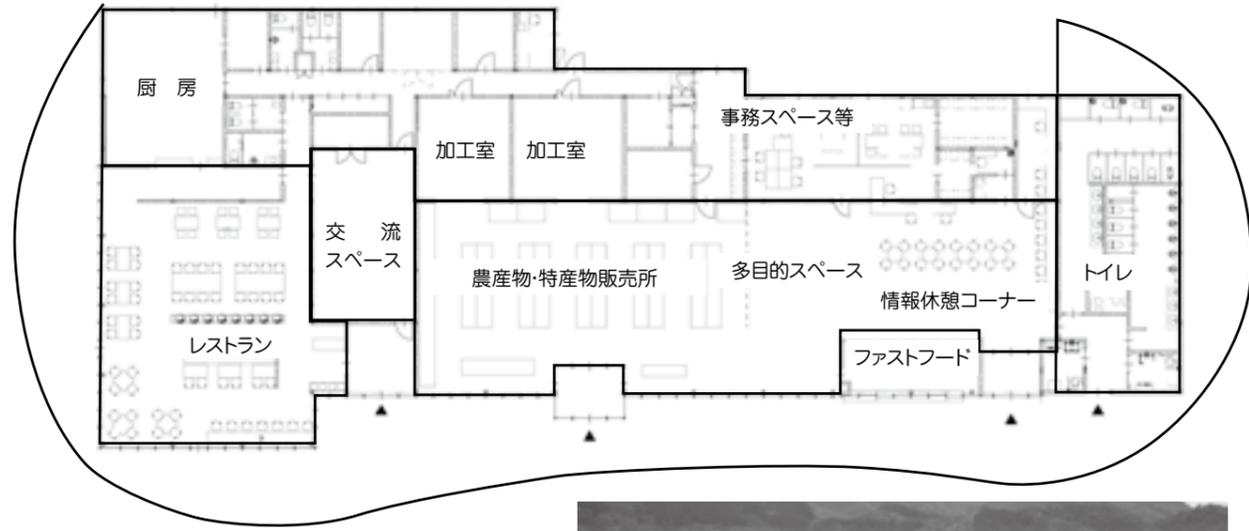
- レベルアップスポーツ教室など



子どもたちがのびのびと元気に過ごせるような取り組みを充実させるよ!



「道の駅」館内計画平面図



「道の駅」駅舎鳥瞰図

高野に「道の駅」を整備 平成25年春オープンを目指す



中国横断自動車道尾道松江線の開通にあわせて整備を進めている高野観光交流ターミナル「道の駅」(仮称:以下「道の駅」)の基本設計がまとまりました。
この「道の駅」は、高野インターチェンジ付近の約2.7㏊の敷地に駅舎や駐車場(普通車40台、大型車13台)、緑地広場などを整備し、来年春のオープンを目指しています。

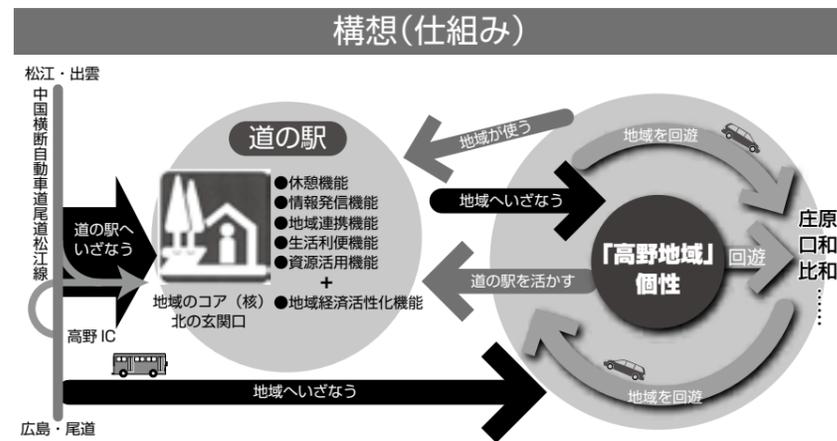
※イメージであり、一部変更する場合があります。

■個性を生かした外観■
駅舎は木造平屋建てで、床面積は約1,100平方メートル。外観は、高野特産のりんごを連想させる形状としました。屋根は雪を落とさないフラットな構造とし、人の通るエリアの安全を確保すると同時に、除雪の手間を最小限に

りんごをイメージした駅舎

■地域のコア(核)の実現■
収穫祭や地域を巡るガイドツアーの開催など、コミュニケーションツールを推進し、地域の「誇り」や地元学(歴史、文化、達人など)をPRし、来訪者が地域の良さを体感することで交流を促進します。
そして、「道の駅」の基本機能を踏まえ、高野地域の立地条件や自然環境、地域資源を生かしながら、人・モノ・情報を結ぶ新たな拠点・ネットワークを構築し、まちの元気を生み出す「地域のコア(核)」の実現を目指します。

活力ある地域づくりを行うための「地域連携機能」を併せ持つことが採択基準となっています。
地域連携機能では、地域住民が漬物講座やジャムづくり体験を開催するなど、来訪者との会話・交流を大切にしながら、ファン・リピーターの拡大を目指します。



■雪資源の活用■
高野地域にとって、やっかい物であった雪を逆に地域活性化に活用できるよう、雪室を敷地内に整備し、産品や加工品を雪室保存商品として高付加価値化することで販売促進につなげます。

■交流を生む多機能空間■
駅舎には、トイレ、情報休憩コーナー、多目的スペース、農産物・特産物販売所などを配置します。レストランは北側に設け、高速道路や中国山地の山並みの景観を眺めることができます。
多目的スペースではギャラリーやサークル活動の発表などを開催。情報休憩コーナーはタイムリーな道路・観光・地域情報の発信に努め、観光情報のワンストップサービスを目指します。
レストランは高原カフェスタイルで、豊富な山の幸を中心としたメニューを基本とし、地元特産のりんごや夏いちごを使ったスイーツなども提供します。
農産物特産物販売所は、豊富な生産量を誇る大根やりんごをはじめ、旬の野菜や果物、加工品などを販売。ファストフードや加工品では、この販売所と連携し、地産地消メニューや食文化の伝承など、この「道の駅」ならではの商品の提供に努めます。

■道の駅機能を充実■
「道の駅」の基本機能■
「道の駅」は、誰もが安心して利用できるよう一定以上の水準を確保するための登録制度が設けられており、道路利用者や地域住民のための「休憩機能」、道路利用者や地域住民のための「情報発信機能」、「道の駅」をきっかけに来訪者と地域、あるいは地域と地域が連携し

「道の駅」機能を充実
「道の駅」の基本機能■
「道の駅」は、誰もが安心して利用できるよう一定以上の水準を確保するための登録制度が設けられており、道路利用者や地域住民のための「休憩機能」、道路利用者や地域住民のための「情報発信機能」、「道の駅」をきっかけに来訪者と地域、あるいは地域と地域が連携し
抑えます。
■交流を生む多機能空間■
駅舎には、トイレ、情報休憩コーナー、多目的スペース、農産物・特産物販売所などを配置します。レストランは北側に設け、高速道路や中国山地の山並みの景観を眺めることができます。
多目的スペースではギャラリーやサークル活動の発表などを開催。情報休憩コーナーはタイムリーな道路・観光・地域情報の発信に努め、観光情報のワンストップサービスを目指します。
レストランは高原カフェスタイルで、豊富な山の幸を中心としたメニューを基本とし、地元特産のりんごや夏いちごを使ったスイーツなども提供します。
農産物特産物販売所は、豊富な生産量を誇る大根やりんごをはじめ、旬の野菜や果物、加工品などを販売。ファストフードや加工品では、この販売所と連携し、地産地消メニューや食文化の伝承など、この「道の駅」ならではの商品の提供に努めます。

庄原市の「北の玄関口」

尾道松江線が開通

尾道松江線は国が整備する無料の高速道路で、三次ジャンクション(JCT)から吉田掛合ICまでが平成24年度末までに開通します。

国土交通省によると、尾道松江線の1日当たりの計画交通量は7,350台と推計。この尾道松江線の開通を起爆剤として地域活性化を図るため、高野インターチェンジ(IC)付近に「道の駅」を整備しています。

本路線は本線上にパーキングエリアを設置しないことから、「道の駅」が道路利用者のための休憩機能や情報発信機能などの役割を担います。

また、庄原市の「北の玄関口」の顔として機能することで、多くの観光客を呼び込み、さらに庄原市全体に人をいざない、市内全体を盛り上げるきっかけとなる施設を目指します。

市民が創る「道の駅」

「道の駅」整備に、市民の意見を反映し、市民の主体的な運営体制を図るため、平成20年度から高野地域づくり未来塾や道の駅準備委員会、「道の駅」の整備方針や導入機能などについて協議を進めてきました。

昨年度からは、「道の駅」と連携する各種団体などから委員を選出し、道の駅管理運営協議会を設置。年間20回の会議を重ね、建築設計や各施設の運営方針、直売所に関するなどを検討してきました。時には夜7時から始めた会議が夜中の12時を超えることもありましたが、「自分たち(市民)の道の駅を、自分たちで創ろう」と、常に意欲的な委員の皆さんによって、熱心に協議が進められています。



管理運営協議会の様子

VOICE

道の駅管理運営協議会委員に聞く「どんな道の駅にしたい?」

「まちを元気にする道の駅」



道の駅管理運営協議会会長
まつしまよしはる
松島義治さん

私たち市民の声を「道の駅」の整備や運営に反映し、市民の皆さんに愛される「道の駅」となるよう熱心な議論を続けています。新たな地域振興の場として、「道の駅」の運営やまちづくりに多くの市民がかかわり、「まちの元気づくりの場」にしていきたいと思っています。

「心地よさでイメージ向上を」



高野地域づくり未来塾副塾長
まえだまりこ
前田万里子さん

「道の駅」の第一印象を決めるのは「トイレ」かもしれません。清潔感を保つことはもちろん、パウダールームを設置するなど、話題となる「トイレ」を目指しています。また、眺望のよいレストランでゆっくりと食事が楽しめるなど、居心地の良さをイメージ向上を図りたいと思います。

「農業が元気なまちを発信」



高野町あつぎ会会長
まぶねじゅんいち
馬船純一さん

徹底して市内産品の充実にこだわり、地産地消はもちろん、「道の駅」を流通の拠点として、「農業が元気な庄原市」を全国にPRしていきたい。そして、食育や体験農業など、消費者との交流を進め、「農業と観光でメシが食えるまち」を実現したいと思っています。

「観光プラットフォームに」



庄原市観光協会事務局長
きつかわりえ
吉川理恵さん

会議に出席し、いつも高野の人の地域に対する熱い思いとパワーには感心しています。情報発信機能と着地型(体験型)観光の窓口機能を充実させて、「道の駅」が市内外の人や資源、情報をつなぐ観光プラットフォームになるよう、庄原市観光協会としてかわっていききたいと思います。

未来創造支援事業でソフトを充実

尾道松江線の開通や「道の駅」の整備効果を最大限高めるため、県の過疎対策事業「未来創造支援交付金」を活用し、昨年度から①「道の駅」整備事業②高野の逸品100プロジェクト事業③着地型観光推進事業④雪資源活用事業の4つの事業を一体的に進めています。

「道の駅」整備事業

この事業では、コンサルタントを活用し、道の駅管理運営協議会のアドバイザーとして市民意見の取りまとめや、

専門家の持つ経験・ノウハウを施設整備や運営手法に取り入れています。

協議会に参加している藤原裕子さんは「これまでの事例はもちろん、経験に裏打ちされたアドバイスはなるほど」と感心するものばかり。専門家や民間企業のノウハウはとて大切だと感じた」と話しています。

高野の逸品100プロジェクト事業

「道の駅」の開業を見据え、地域経済の活性化を図るため、高野地域の農産物を活用した特産品開発に取り組んでいます。

この事業では、特産品開発の専門家や料理研究家を招き、特産品開発講

座や生産者へのコンサルティングを行いながら、新商品開発および商品改良、テストマーケティングを進め、「売れる特産品」づくりに励んでいます。

また、認証制度を設け「高野らしさ」や「安全安心」など、一定の基準を満たしたものを「高野の逸品」として認証し、「道の駅」の開業までに100品目を目標に活動を進めています。

そして、この取り組みをモデルとして市内全域に広がっていきます。

着地型観光推進事業

「道の駅」に観光プラットフォーム機能を整備し、観光情報や資源と東

観光のワンストップサービスを実現させることにより、来訪者を市内へいざない回遊させる仕組みづくりに取り組んでいます。

今後、庄原市観光協会などと連携して、体験メニューの開発や人材育成を行うとともに、農村民泊を推進し、教育旅行の受け皿整備を進めていきます。

雪資源活用事業

高野地域にある雪室実証実験施設を活用し、市内の産品や加工品の保存実験を行いながら、雪資源活用の検討、および雪室による特産品の高付加価値化、新たな特産品開発を進めています。

「道の駅」は地域の「顔」

市民の力を結集し、誇りとなる「道の駅」を



いかり
孝洋さん

道の駅管理運営協議会
アドバイザー

市内産品の充実がカギ
訪れる人々は、「道の駅」や直売所を見て、その地域の人々の生きざまを感じます。

そのため、高野地域をはじめとした市内産品の品揃えの充実が欠かせません。現在直売所ブームにのって、直売所という名の巨大スーパーが増えてきています。しかし、その直売所は、全国各地から仕入れを行うため、「地元農家は儲

かつていない」というケースがあります。何のためにこの施設を建てるのか。この意味をよく理解して、地元農家をはじめ市民が主人公となる「道の駅」にしていくことが大切だと思います。

市民参加が欠かせない

直売所では、生産者自身が「自分たちの直売所」という意識で、直売所の運営や販売、消費者との交流にも積極的に参加することが重要です。また、情報コーナーや多目的スペースでは、市民自らが地域情報や地元文化を発信するために、賑わいのある「道の駅」にするために

は、市民一人一人が「道の駅」を使ってどう地域の魅力を発信するのか、多くの市民の知恵や協力が欠かせません。高野地域をはじめ庄原市のポテンシャルは高いと思います。庄原市の総合力を結集し、「市民の誇り」となる「道の駅」を作り上げていきましょう。

プロフィール
1953年長崎県佐世保市生まれ。大学卒業後、長崎の百貨店に入社。在籍20年の間、食料品のパイヤーや飲食業の立ち上げを行い、マーケティング会社などを経て独立。直売所甲子園2011グランプリに輝いた「道の駅たちばな」や「九州のムラ市場」をはじめ、直売所の企画・プロデュース、特産品開発などを手がける。

昨年5月 工事序盤

昨年10月 工事中盤

今年3月 めてたく完成!



基礎からしっかりと



姿が見えてきたぞ



庄原中学校校舎完成

新校舎で新年度がスタート

教育総務課学校管理係 ☎0824-73-1186



4月19日に校舎棟の竣工式・見学会が開催され、完成を祝いました



普通教室での授業風景



パソコン教室



理科室



2階廊下



図書室



2階

今後の主な工事スケジュール(予定)

- 平成24年度
屋内運動場・武道場建築、既存校舎解体撤去、敷地整備(グラウンド・テニスコート)
- 平成25年度
既存屋内運動場・格技場解体撤去、敷地整備(駐車場ほか)

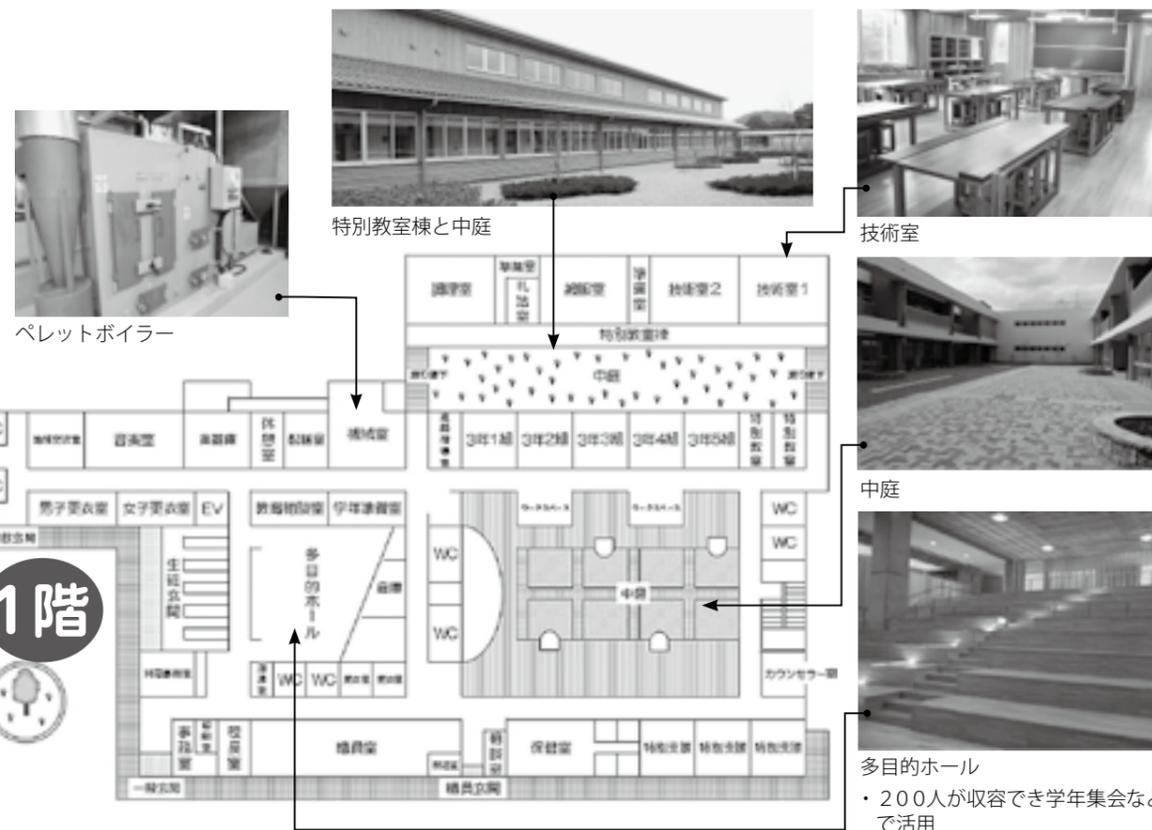
■新校舎に学びの音が響く
昨年3月に着工した庄原中学校の校舎改築工事が、今年3月に完了しました。春休み中に引越しを済ませ、4月6日の始業式入学式から本格的に新校舎での生活がスタートしました。

普通教室などで利用する机・イスを旧校舎から新校舎へ移動する作業は、新2・3年生やPTAの方々の協力により行われました。

■新校舎の特徴
新校舎は、鉄筋コンクリート2階建て、延べ床面積約6,751平方メートルの校舎棟と、木造平屋建て、延べ床面積約698平方メートルの特別教室棟からなり、地域産材をふんだんに使い、ぬくもりと落ち着きのある空間を創出しています。

生徒用玄関を入った正面には、1階から2階へ上がる階段と一体になった段状の「多目的ホール」を配置し、普通教室は中庭を囲むように配置することで、多くの光が差し込み風通しのよい明るい空間となっています。また、エレベーターや多機能トイレを設置するなどバリアフリーに配慮し、ペレットボイラーによる普通教室・多目的ホールの床暖房、地中熱を利用した空調システム、太陽光発電システムやトイレ洗浄水への雨水利用など、省資源省エネルギーの技術を導入しています。

この新校舎で、庄原市の未来を担う生徒たちが健やかに、そしてのびのびと育っていくことを期待します。



市内7カ所で 空間放射線量を 測定しています

危機管理課危機管理係
☎0824-73-1206

東日本大震災により東京電力福島第一原子力発電所で事故が発生し、放射線量に対する市民の関心や不安が高まっています。

市は、3月から毎月市内7カ所(市役所本庁舎各支所庁舎付近)で空間放射線量の測定を実施し、市民の皆さんへ情報提供するとともに、今後の放射線対応のための基礎資料にしていきたいです。

身の回りにおける放射線

放射線は人工的なイメージがありますが、私たちの身の回りにはごく自然に存在しています。目には見えませんが、私たちの体は常に微量の放射線を受けています。日本国内での年間の平均放射線量は約0.99〜1.4ミリシーベルト、世界平均では年間2.4ミリシーベルトと言われています。

測定方法

- 地表面から高さ1メートルの地点を測定する。
- 30秒ごとに5回測定し、平均値をその地点での測定値とする。



放射線量を測定する職員

測定機器

ミリオンテックロジーズ社製 RDS31

測定結果(3月)

(単位:μSv/時)

地域	場所	日	時	データ
庄原	市役所駐車場	18日	13:10	0.078
西城	西城球技場	22日	15:10	0.090
東城	東城支所駐車場	19日	16:40	0.044
口和	口和自治振興センター駐車場	19日	10:30	0.086
高野	高野支所駐車場	19日	11:15	0.126
比和	比和支所駐車場	19日	11:50	0.104
総領	総領自治振興センター駐車場	22日	11:25	0.096

※毎月の測定結果は、市のホームページでお知らせしています。

測定結果から1年間の放射線量を推計する方法

私たちは一日をさまざまなおで過ごします。一日のうち屋外に8時間、屋内に16時間滞在するという生活パターンを想定し、次の計算式で計算します。屋内にいる場合は、放射線に対する遮へい効果により放射線量は屋外の約4割に減少すると考えられています。

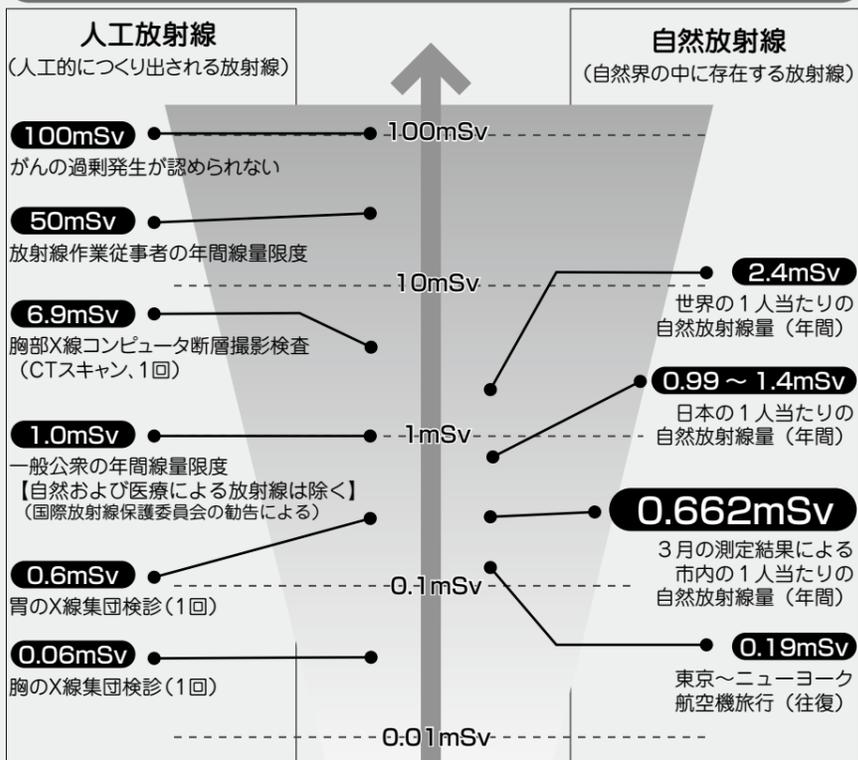
計算式

測定結果×(8時間/24時間+16時間/24時間×0.4)×24時間×365日

例)3月の測定結果で市内で一番高い数値(0.126μSv/時)を当てはめて計算した場合

0.126マイクロシーベルト/時×(8時間/24時間+16時間/24時間×0.4)×24時間×365日=662.256マイクロシーベルト/年
★1年間の放射線量は0.662ミリシーベルトとなります。

★放射線の目安表★



■単位解説 (シーベルト) ……放射線による人体への影響度合いを表す単位
1シーベルト (Sv)=1,000 ミリシーベルト (mSv)
1ミリシーベルト (mSv)=1,000 マイクロシーベルト (μSv)

私にもできる 獣害対策

シリーズ



林業振興課 ☎0824-73-1124

イノシシを中心とした鳥獣による農作物の被害は年々増加しています。イノシシの捕獲頭数は増加しているにもかかわらず、被害が軽減されていません。一体なぜでしょうか。

獣害対策のスペシャリスト井上雅央さんが、その原因と被害を防ぐための対策についてわかりやすく教えてください。1年間シリーズ連載します。

● 獣害・守れる集落の作り方

その1 原因と対策の基本

庄原の皆さんこんにちは。今回から、シリーズで田畑を荒らす厄介者、サル、

シカ、イノシシやカラスなど野生鳥獣による被害対策を一緒に勉強していきましょう。

鳥獣害で大変厄介な問題と感じている方も多いと思いますが、実は原因さえ分かれば案外簡単なんです。逆に原因を正しく理解しないでやる対策は全部逆効果と思ってください。

あなたが良かれと思つて張った

トタン柵も、張り方や管理の方法によってはイノシシを田んぼに引き寄せ、被害をますます大きくしているという方も多いのです。そんなことにならないように、さっそく被害激化の原因から勉強を始めてみましょう。

獣害対策は順序が大切

- ①みんなで勉強
 - ②守れる集落・守れる畑
 - ③自分でやる囲いや追い払い
 - ④捕獲・大規模柵
- 「何をやるか」よりこの順序が大事



井上雅央さん

みんな、③か④から始めて失敗するんですけどね、①、②、③、④の順番守つてやろうと思いつながら対策始めたらね、おもしろいことに、①だけで被害減り始めたり、①と②やったところでイノシシ、来る回数減つたり、③までで被害、どっかへ行ってしまふこと多いですね。

2. 餌付けとは何だ!

「被害で困っているのに、餌付けとは何だ!」と怒らないでください。

餌付けをやめるには、餌付けがどうやれば成功するのか、知っておかないとダメです。餌付けを成功させる条件はたった二つ。一つ

目が人慣れ学習。つまり、この集落は怖くないと動物に学習させること。二つ目の条件とは、出てきたら満腹で食うだけのエサをいつも準備してあげること。もし、いくら対策をしても被害が続くなら、依然としてこの条件がそ

3. 知らずしてやっている餌付け学習

少し実例も挙げておきましょう。トタンは張つただけで外側はススキやササが生え放題。こんなトタン柵をよく見ます。トタンまで安心してイノシシが接近し、トタンの向こうにひそみ始めます。田んぼの至近距離でひそめば、トラクターや刈り払い機の機械音、話し声など平気な。人慣れイノシシが育ちます。もし、稲刈り後、入り口を開けたりしていれば、トタン沿いに歩くと田んぼのレンゲやひこぼえの米にありつきます。つまり、こんなトタン柵は餌付け学習装置と言ってしまうのです。

今回は守れる田畑の話です。

プロフィール

井上雅央
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
近畿中国四国農業研究センター
鳥獣害研究チーム専門員

平成10年から奈良県農業技術センター鳥獣害対策チームリーダーとして、猿害対策を中心とした作物保護研究に従事。サルから守りやすい野菜・果樹栽培技術、高齢者が設置できる簡易猿害防止柵などを開発。これらを動機付け材料として行政と連携し、集落ぐるみの取り組みを実践。同チームの統括を経て平成18年に近畿中国四国農業研究センター鳥獣害研究チーム長。平成22年から現職。



個人住民税併任徴収を 実施します

税務課収納係・徴収プロジェクト係
☎0824-73-1145



広島県地方税納税推進
キャラクター「ささえくん」

市は、5月1日から12月28日まで、広島県税務徴収職員二人を市職員に併任(※1)し、税務課徴収職員と連携して、個人住民税を中心とした市税などの滞納整理(※2)に取り組みます。

税金を自主的に納付することは、憲法に定められた国民の義務であり、市の歳入金を確保し、納税の公平性を保つためにも、毅然とした滞納整理が求められています。

市は、市税などの滞納者に対して督促状、催告書などの文書催告や、訪問催告・電話催告を実施し、さらに自主的に納付しない方には、各種財産の調査や店舗・住宅の搜索、車両のタイヤロック、債権・財産の差押え、動産・不動産のインターネット公売などの滞納処分(※3)を行っています。

個人住民税併任徴収は昨年度実施しており、高額滞納者や長期滞納者を中心に滞納処分を実施し、納税折衝を行いました。その結果、対象とした案件39件(滞納額約6千7百万円)

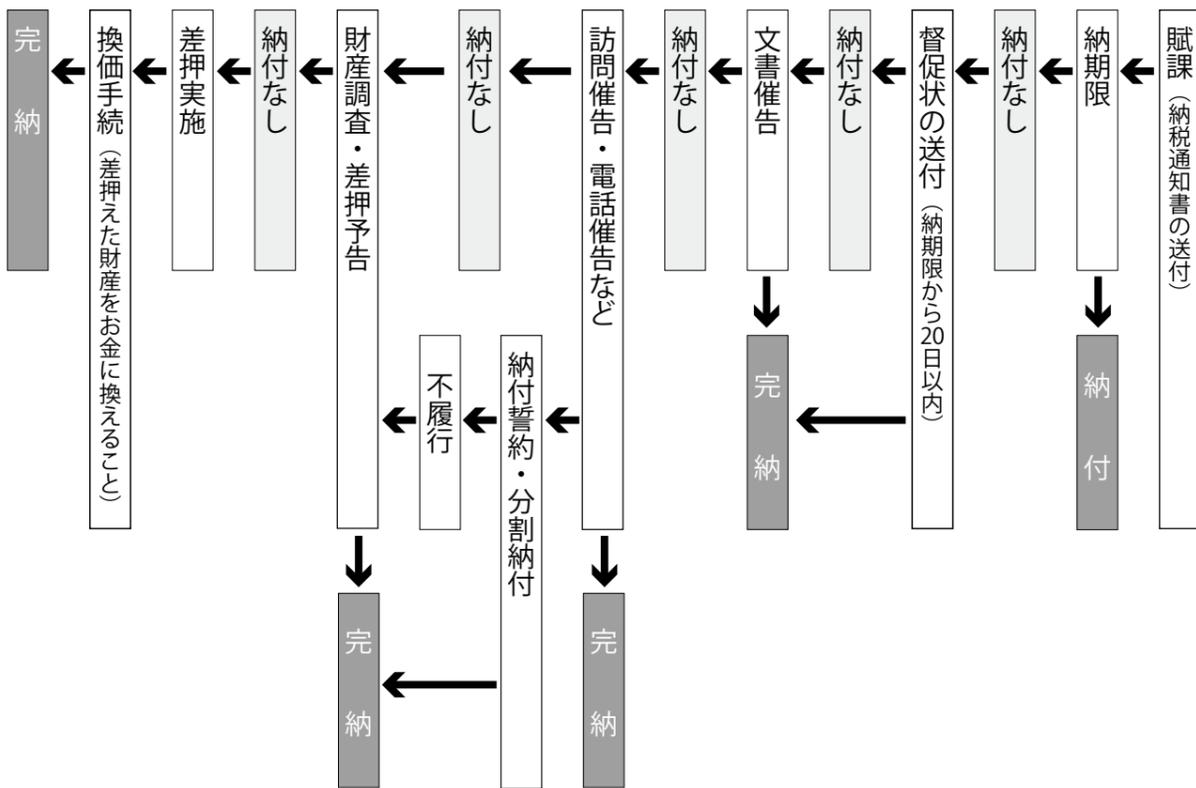
のうち、31件(滞納額約5千9百万円)について納付のめどが付きました。本年度も納付折衝が困難な滞納案件に重点を置いて、滞納整理に取り組みます。

事情により市税などを納期限内に納付ができないなど、納付についてお困りの方は、納付しないまま放置せず、税務課または各支所市民生活室へご相談ください。

【用語解説】

- ※1 併任
今回の場合は、広島県税務徴収職員が一定期間庄原市職員の辞令を受け、双方の身分を併せ持つこと。
- ※2 滞納整理
納付期限内に納付されなかった市税などを徴収するための事務手続の総称。
- ※3 滞納処分
税金などを納付しない場合に、滞納者の意思に関わりなく強制的に徴収する手続のこと。

滞納整理のフローチャート (例であり、必ずしもこのとおりに進行しない場合があります)



地域の宝を観光商品として磨きあげます next庄原とやま博

商工観光課観光振興係 ☎0824-73-1179

平成22年10月～平成23年11月まで開催された庄原とやま博は、さとうの強みを生かした体験メニュー開発のほか、里山文化、自然、暮らしなどに改めて着目、その魅力を再発見するきっかけとなりました。

庄原市観光協会は、これら再発見した地域の宝(宝石)をさらに磨き、一つ一つつけて個性豊かな宝石のネックレスにすることで、観光商品としてさらに魅力をアップさせブランド化する観光プロジェクトとして「next庄原とやま博」を掲げて取り組みを進めています。

神秘比婆

く美しき原風景を訪ねて
斎庭ルートイベント第1弾!

4年に1度の伝統行事 「比和牛供養田植」

昨年度に引き続き、庄原市に受け継がれる農事にかかわる伝統文化の

魅力と伝承の重要性を広く発信する「古式の農事」をテーマにしたPRキャンペーンを展開しています。

5月27日には、比和町森脇で「比和牛供養田植」が開催されます。地域で大切に受け継がれるこの伝統行事を盛り上げようと、6月16日にはヒゴタの会と三河内地域自治会が中心となり、連携イベントとして「絶滅危惧種ヒゴタイを守るめぐみ交流会」とカンナ残丘の景観を楽しむ三河内ウォーキングを開催。そのほかにも、地域の人々が講師となって実施する「十割そば打ち体験」や「吾妻山で植物(細密画)を描こう」などの体験メニューも予定しています。

少子高齢化の進む本市では、従来型の大型イベントを実施することが今後ますます難しくなることが今後、庄原市観光協会では主催者がより少ない予算と負担で魅力的なイベントを展開する一つの方法として、地域の人や団体が一つのテーマのもとに集まりそれぞれの強みを生かすことで、



郷土の魅力を多角的に掘り下げ、発信するイベント形態を提案してまいります。

問い合わせ

庄原市観光協会
☎0824-73-0175

インタビュー



比和牛供養田植
比和町郷土芸能振興会
会長 若林隆志さん

昔から牛は田畑を耕すために使われ、フンは堆肥として利用される農家にとってなくてはならない大変有益な家畜でした。その牛に感謝し、供養するため牛供養田植を行うようになったようです。

比和での牛供養田植は約700年前、伯耆の大山神社の社人を迎えて太鼓踊りの技法を伝えたのが始まりとされており、時代の移り変わりとともに身にまとう衣装は変わっても、太鼓打ちの技法がそのまま伝えられているのが特色とされています。

特に、太鼓打ちでは、バイ(バチ)を大きく投げ上げたり、腰ひもに付けた太鼓を大きく体をくねらせ左右から打ったり、後ろに反り笠で水をすくうという妙技などがあります。

昭和46年には広島県無形民俗文化財に指定されており、今後も比和の宝として永く伝承していきたいと思っています。



比和牛供養田植

ご相談ください！

各種相談員があなたの相談をお受けします
悩みごと、心配ごと、お困りごとなど、お気軽にご相談を

生活安全相談員

日常生活で抱えている問題や家庭での防犯対策、地域での防犯活動などに関する相談に応じています。

○相談日

毎週月～金曜日(祝日・年末年始除く)

9時～16時(12時～13時休み)

○相談先

市民生活課生活安全係内

松田史朗

☎0824-73-1244



まつだ しろう
松田 史朗

東城支所市民生活室市民生活係内
横山友三

☎08477-2-5121



よこやま ゆうぞう
横山 友三

女性相談員

夫または妻、恋人からの暴力や暴言、および女性のさまざまな生活上の悩みについての相談をお受けしています。
※配偶者や恋人からの暴力(DV)は、男性からの相談もお受けします。

○相談日

毎週月～金(祝日・年末年始を除く)

9時～16時

○相談・問い合わせ

女性児童課女性子ども支援係

DV女性相談専用

☎0824-73-1243

家庭児童相談員

子どもの発育やしつけ、家族との関係など、子どもを育てるうえでさまざまな悩みごとや心配ごと、困りごとはありませんか？困った時は一人で悩まず、まず相談してください。

○相談日

毎週月～金曜日(祝日・年末年始を除く)

9時～16時

○相談・問い合わせ

女性児童課女性子ども支援係

家庭児童相談専用

☎0824-73-1248

行政相談委員

日々の暮らしの中で、行政に対し「納得できない」「どうしたらよいかかわからない」「こうしてもらいたい」といった苦

情や意見、要望をお聞きし、助言や行政機関との橋渡しをしています。
秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

●平成24年4月1日付けで、行政相談委員7人が総務大臣から再委嘱されました。(任期2年間)

地域	氏名	自宅電話番号	定期相談日	定期相談場所
庄原	なひやま 中山 忠昭	0824-72-5873	毎月第3木曜日	庄原市ふれあいセンター 0824-72-7120
			13時～16時	
西城	さくだ 作田ユリコ	0824-82-3048	4・6・8・10・12・2月の第3木曜日	西城保健福祉総合センター 0824-82-2202
			13時30分～16時30分	
東城	なきちと 滝本 昌子	08477-4-0650	毎月第3木曜日	東城ふれあいセンター 08477-2-0909
			13時30分～15時30分	
口和	いしだ 石田 潔也	0824-89-2022	8・10・2月の第4木曜日	口和老人福祉センター 0824-89-2320
			13時30分～15時30分	
高野	いのうえ 井上 清恵	0824-86-2732	4月10日、6月12日 8月21日、10月16日 12月11日、2月12日	高野支所 0824-86-2115
			13時～15時	
比和	むらお 村尾 孝吉	0824-85-2209	①4月19日、8月16日 10月18日、12月6日 ②6月1日、2月21日	①比和文化会館 0824-85-2600 ②比和支所 0824-85-3001
			13時30分～15時30分	
総領	あきやま 秋山 義治	0824-88-2217	毎月第2水曜日	総領健康福祉センター 0824-88-3110
			9時～11時	

※都合により、日程を変更する場合がありますのでご了承ください。
※定期相談日以外の日にも、各委員の自宅で相談に応じています。

消費生活相談員

日々の暮らしのなかで、契約のトラブルや多重債務、訪問販売者が商品を置いて帰ってしまった…などの体験はありませんか？

消費生活センターは、こうした消費生活に関する苦情や相談を受け、問題の解決のためのお手伝いをしています。

○相談日

毎週月～金曜日(祝日・年末年始を除く)

9時～16時(12時～13時休み)

○相談・問い合わせ

庄原市消費生活センター

☎0824-73-1228

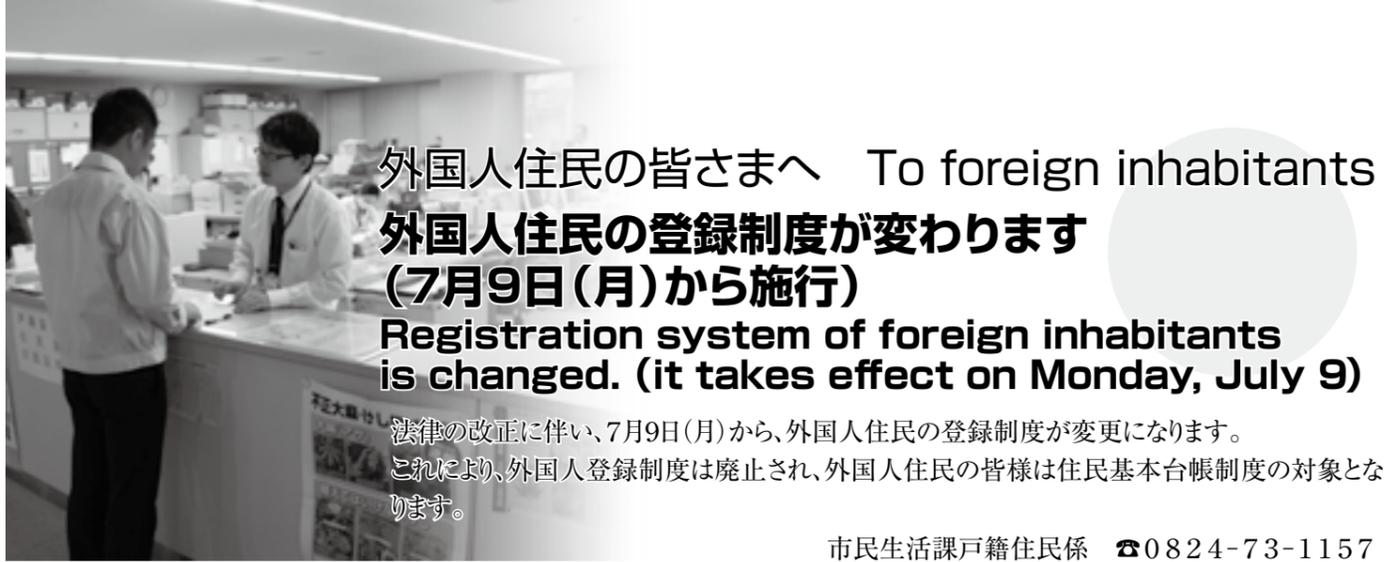
市民生活課生活安全係

☎0824-73-1154

5月は消費者月間です

平成24年度の
消費者月間統一テーマ
「安全・安心
いま新たな
ステージへ」

このテーマには「今こそ、国、地方自治体、消費者団体をはじめ多様な主体が連携協力して消費者主役の社会づくりを前進させたい」との願いが込められています。
消費者問題の解決のため、「おかしいな、困ったな」と思ったら、ひとりで悩まず、消費生活センターへご相談ください。



外国人住民の皆さまへ To foreign inhabitants 外国人住民の登録制度が変わります (7月9日(月)から施行) Registration system of foreign inhabitants is changed. (it takes effect on Monday, July 9)

法律の改正に伴い、7月9日(月)から、外国人住民の登録制度が変更になります。
これにより、外国人登録制度は廃止され、外国人住民の皆様は住民基本台帳制度の対象となります。

市民生活課戸籍住民係 ☎0824-73-1157

外国人住民の方にとって利便性が向上します。

We take it towards foreign inhabitants, and convenience improves.

外国人住民の方にも住民票を作成しますので、外国人と日本人で構成する世帯の方にも、世帯全員が記載された住民票の写しなどが発行できるようになります。

住民基本台帳は、住民に関する事務処理の基礎となるので、転入届などにより、国民健康保険等各種行政サービスの出が一本化され手続きが簡素化されます。

証明書などが更新されます
Certificates, etc.
will be updated.

特別永住者には、市町村で「特別永住者証明書」が、中長期在留者には、入国管理局で「在留カード」が交付されます。現在の「外国人登録証明書」は7月以降、一定期間(表参照)「特別永住者証明書」または「在留カード」としてみなされます。

また、特別永住者証明書、在留カードは事前に交付申請ができます。受け付け窓口は、特別永住者は市役所、中長期在留者は地方入国管理局(広島入国管理局)になります。(ただし、特別永住者証明書の受け取りは7月9日(月)以降になる予定です。)

●特別永住者証明書の事前申請に必要なもの

旅券、外国人登録証明書、写真1枚(4cm×3cm、3カ月以内に撮影したもの)

●申請受け付け

市民生活課戸籍住民係

または各支所市民生活室

※在留カードは広島入国管理局(☎082-221-4411)へ問い合わせてください。

082-221-4411へ問い合わせ

仮住民票を5月に送付します

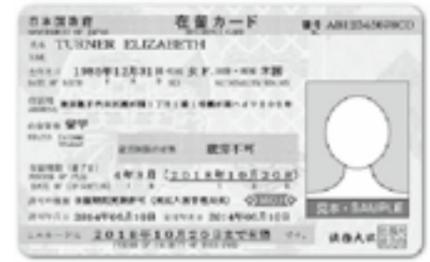
We send temporary Proof of Residence (2012) in May in 2012

外国人住民票の作成対象者の方には、外国人登録原票を基にして世帯ごとに仮住民票を作成して送付します。

発送時期は5月中旬以降を予定していますので、内容をご確認ください。実際は新しい住所に引っ越していても役所に届け出ていない方は、住所が確認できないため住民票が作成されない場合があります。住民票は、仮住民票に記載された内容で作成しますので、仮住民票の通知内容が実際とは異なっている(世帯構成員の中に住所変更などがある)場合には、速やかに届け出をお願いします。

(表)

対象区分	更新時期
特別永住者	次回確認日までに、市役所で交付申請を行ってください。
永住者	改正後3年以内に、地方入国管理局で交付申請を行ってください。
上記以外	改正後の在留資格または在留期間の更新時に、地方入国管理局で在留カードが交付されます。



庄原市ふるさと応援寄附金に

4,372万円

財政課理財係 ☎0824-73-11202

「ふるさと納税」(庄原市ふるさと応援寄附金)制度は、自治体に寄附すると、2千円を超える部分について所得税と住民税の控除が受けられるもので、「ふるさとを応援したい」と思う気持ちをかたちにすることができきる制度です。

この制度によるこれまでの寄附状況は次のとおりです。皆さまのご協力から感謝申し上げます。

ふるさと応援寄附金の詳しい内容は、市ホームページ(http://www.city.shobara-hiroshima.jp/)をご覧ください。か、財政課理財係(☎0824-73-11202)までお問い合わせください。

平成20年7月～平成24年3月までの寄附状況

指定事業の区分	寄附件数	寄附金額(円)
(1)自治および協働に関する事業	7	660,800
(2)産業および交流に関する事業	10	1,183,300
(3)環境、基盤および定住に関する事業	10	125,800
(4)保健、福祉および医療に関する事業	62	5,433,800
(5)教育および文化に関する事業	40	7,843,324
(6)重点戦略プロジェクトに関する事業	9	170,800
(7)財政健全化への取り組みに関する事業	7	1,375,800
(8)災害復旧に関する事業	29	2,386,000
(9)指定事業なし	114	24,544,718
合計	288	43,724,342

5千円以上を寄附いただいた方には、広報紙を1年間お届けします。
3万円以上を寄附いただいた方には、広報紙と併せて、「庄原市特産品セット」「市史・町史誌」「庄原産木材で制作した木の器」の中からご希望のものを贈呈します。

社会貢献やスポーツで 顕著な功績を収めた 5人を顕彰

～ふるさと功労賞授与～

総務課人事秘書係
☎0824-73-1125



市は3月28日、庄原市ふるさと功労賞授与式を市役所で開催しました。

ふるさと功労賞は、文化、スポーツ、社会貢献などで市民生活に夢と希望を与え、庄原市の名を高めた方を顕彰する制度として平成20年度に創設。

今回は、社会功労として、幅広く地域社会で活躍し、本市の発展に寄与した方、スポーツ功労としては全国大会で極めて優秀な成績を収めた方など5人を顕彰しました。

滝口季彦市長は「すばらしい功績を残された皆さまに感謝の思いを込めて功労賞を授与できたことをとてもうれしく思います」と述べ、一人一人に表彰状と記念の盾を手渡しました。

【社会功労】

- 高橋 辰夫(川北町)
- 瀬野 周子(木戸町)
- 堀江 陽子(高野町)

【スポーツ功労】

- 森信 正彦(川手町)
- 山崎 隆輝(東城町)

自治振興区の再編が進んでいます

自治振興課自治振興係 ☎0824-73-1209



市内各自治振興区の再編状況 (4月1日現在)

本年度から、新たに西城、比和地域の自治振興区が再編されました。現在、市内21の自治振興区が自治振興センターの指定管理を受け、活動拠点としてさまざまな取り組みが進められています。

なお、東城公民館区域の10自治振興区については、平成25年4月1日からの再編および公民館の自治振興センター化に向け、協議が進められています。

西城比和自治振興区が新たにスタート

西城自治振興区

西城地域の14の自治振興区が統合し、その活動拠点である西城自治振興センターが、4月1日、スタートしました。

新しく組織された西城自治振興区は、自分たちの手で住みよいまちをつくるという、課題解決型の組織となるように工夫されています。



しています。過去数年間の市政懇談会などを通じて集約した地域の現状、ビジョン、課題を分析して「もてなし」「里山」「やすらぎ」「学びとふれあい」の4つのプロジェクトを設定。地域課題を自ら克服する住民自治活動と生涯学習を一体的に展開しながら、安心して充実した暮らしの実現を図ります。

プロジェクトは、この趣旨に賛同した住民が積極的に参画できるような体制になっており、参加者を募集しています。参加希望の方は、西城自治振興センター(☎0824-82-2175)まで。

比和自治振興区

比和地域の6の自治振興区が統合し、活動拠点を比和公民館から比和自治振興センターへ衣替えして、新たな比和自治振興区が4月1日にスタートしました。

これにより、比和地域を一体とした地域づくりと生涯学習活動の体制が整備されることになりました。高齢者世帯、独居世帯の増加、若者世代の減少が顕著となり、地域機能の低下が懸念されるなか、自治振興区の充実と強化、安全で安心して暮らせる比和地域の実現を図ります。

本年度は、「地域振興計画」を策定し、比和地域の将来ビジョンを明確にする中で活動を進めていきます。

わたしたちが進める「市民が主役」のまちづくり!



シリーズ No.2
自治振興課
まちづくり定住推進係
☎0824-73-1257

4月1日に施行された「庄原市まちづくり基本条例」をシリーズで掲載中。今回は第1章について解説します。

第1章 総則

この章では、この条例の目的や位置付けなどを示しています。

(目的)

第1条 この条例は、本市のまちづくりにおける基本原則並びに市民、市議会および市(以下「各主体」という。)の役割および責務などを定め、参画と協働によるまちづくりを推進することを目的とします。

(位置付け)

第2条 この条例は、本市のまちづくりにおける最高規範とします。

2 各主体は、まちづくりに取り組むときは、この条例の趣旨を尊重するものとしします。

解説

第1条では、この条例の目的を記述しています。

目的は「参画と協働によるまちづくりの推進」と定めており、第2条以下の条文では、この目的を実現するために必要な事項を定めています。

解説

第2条では、この条例の位置付けを記述しています。

最高規範とは「行動や判断の基準となる最も重要な手本」を意味しますので、この条例で定めた事項や考え方は、「参画と協働によるまちづくり」に属するすべての活動や事業、判断やルールづくりなどに尊重されなければなりません。

自分たちで楽しい出会いのイベントをつくろう!

♡ 婚活イベントスタッフ募集

しょうばら出会いサポート委員会では、婚活イベントなどを通して、出会いのきっかけづくりに取り組んでいます。

昨年度からは市内の独身者を対象に、婚活イベントの企画や運営に携わっていただくスタッフを募集しています。

昨年度はスタッフ同士でも大変仲良くなり、男女にかかわらず恋愛相談などをしながら、一緒に楽しくイベントづくりができました。本年度は「カーブ応援ツアー(仮)」(9月8日開催予定)などを予定しています。

コミュニケーション力などのスキルアップを図りたい方、自分のアイデアをイベントに反映させたい方や興味のある方はぜひご応募ください。

- 対象者 市内在住の独身男女
- 募集人数 10人
- 申し込み期限 5月25日(金)

※応募多数の場合はお断りすることがあります。

● 申し込み・問い合わせ
自治振興課まちづくり定住推進係
☎0824-73-1257



庄原の未来を元気にする活動です!

昨年は本当に盛り上がり楽しく活動ができました。

今年もいろんなメンバーで共に成長しながら、楽しいイベントをつくりたいので、ぜひ参加してみてください。

しょうばら出会いサポート委員会
委員長 田邊裕二さん



総領支所市民生活室
保健師 本山美土里

受けて安心・生活習慣病健診! ～健診は自分の身体の 状態を知るチャンス～

Q 健診の判定に「要観察」とありますが、どういった意味ですか?

「要観察」とは、定期的に経過を見ていこうという意味です。また、項目によっては生活習慣の見直しによって改

Q 健診は受けたほうがいいの?

ガンや心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病は自覚症状がほとんどありません。何かおかしいと気づいたときにはすでに手遅れ...なんてことも。そうならないためにも、健診は最低でも年1回は受けるようにしましょう。

Q 皆さんは健診を受けていますか? 健診は自分の健康状態を知り、深刻な病気を未然に防ぐことができる効果的な手段です。

「忙しいから受けていいかわからない」「忙しくて受けに行く時間がない」「健康だから受けなくて大丈夫」など、健診を受けていない方にはさまざまな理由があります。そのような健診に関する疑問をQ&A形式でまとめてみました。

Q 「再受診」となった際は、どう行けばいいの?

再受診となった項目が血液検査であれば「内科」、心電図検査であれば「循環器科」というように、検査項目によって受診する科が異なります。検査結果通知書を持参して、かかりつけの医療機関がある場合は主治医に相談するといでしょう。

Q 年に1度は健診を

市の特定健康診査(国保)やがん検診の受診率は伸び悩みの状態です。本年度の「人間ドック」の申し込みは5月1日で締め切りましたが、集団健診の申し込みはまだ可能です。年に1回の健診で自分の健康状態を確認することができますので、健康づくりのスタートとして健診受診をお勧めします。

※申し込みお問い合わせは、集団健診会場のある保健医療課または各支所市民生活室へお願いします。

Q 善が期待できる場合もありますので、今後も医療機関で定期的に検査を受けましょう。

Q 「再受診」となった際は、どう行けばいいの?

再受診となった項目が血液検査であれば「内科」、心電図検査であれば「循環器科」というように、検査項目によって受診する科が異なります。検査結果通知書を持参して、かかりつけの医療機関がある場合は主治医に相談するといでしょう。

Q 飲酒運転は絶対しない! させない!

飲酒運転は道路交通法改正などにより、罰則、行政処分が大幅に強化されたにもかかわらず、いまだに後を絶たない状態で重大事故が発生しています。昨年、庄原警察署管内で飲酒運転による交通事故が4件も発生しています。そのうち2件が死亡事故でした。

飲酒運転には厳しい処分
酒酔い運転
●5年以下の懲役または100万円以下の罰金
●免許取り消し(無条件で35点、欠格期間3年)
●3年以下の懲役または50万円以下の罰金



庄原市の特定健康診査、がん検診の受診率

健 診	平成20年度	平成21年度	平成22年度	県平均 (平成22年度)
特定健康診査	32.6%	34.8%	36.5%	18.7%
肺がん検診	21.0%	22.3%	21.2%	16.1%
大腸がん検診	20.4%	21.6%	20.7%	15.4%
胃がん検診	17.9%	19.2%	17.5%	10.6%
乳がん検診	27.3%	30.4%	18.5%	24.9%
子宮がん検診	21.2%	21.6%	22.5%	28.5%

※特定健康診査は、庄原市国保の健診受診率です。



メール1119サービス開始 聴覚・言語障害の方はぜひ登録を

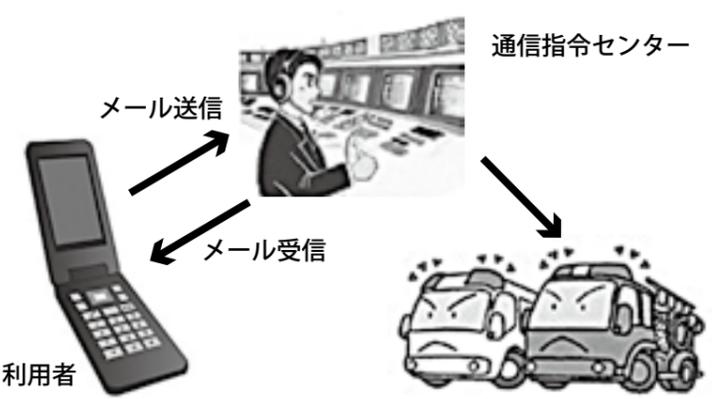
通常の119番通報が困難な聴覚や言語に障害のある方などが、携帯電話のメール機能を利用して火災や救急などの通報を行い、消防車や救急車の要請ができる「メール119サービス」が5月1日から始まりました。

備北地区消防組合が行うこのサービスは、利用登録した方のみ利用することが可能となります。登録方法などは、次のとおりです。

登録・申し込み方法
利用登録は、市役所社会福祉課障害者福祉係または各支所市民生活室で申し込んでください。申込書は同課室に用意しています。

※なお、「ご利用案内」および「申込書」は、備北地区消防組合ホームページからもダウンロードできます。

申し込み窓口
社会福祉課障害者福祉係
0824-73-1210
0824-72-0245
Eメール fukushi-syougai@city.shobarahiroshima.jp



●システムに関する問い合わせ
備北地区消防組合通信指令センター
0824-63-1191
FAX 0824-63-3446
Eメール tuushin3@119-bhoku.jp

安心・安全な毎日のために

庄原警察署 0824-72-0110

●免許取り消し(25点、欠格期間2年)・免許停止(13点、90日)
※車両の提供者、酒類の提供者、車両の同乗者も同様に厳しい処分が科せられます。

飲酒運転は、運転者本人はもとより家族や周囲の人の意識が大切です。絶対に「しない・させない」ようにしましょう。

強盗犯人を逮捕!
ご協力に感謝します!
東城町内で3月14日と4月2日に発生した強盗事件の犯人として、東城町内に住んでいた55歳の男を逮捕しました。

この強盗事件は、包丁を持って高齢者宅に押し入ったもので、東城町内だけでなく市内全域で子どもたちの通学に親が付き添うなど、影響が大きいものでした。

犯人逮捕には、現場付近に設置された防犯ビデオの映像が極めて有力な情報となりました。捜査に対し、多くのご協力をいただき誠にありがとうございました。



新商品を試食



記者発表の様子

育課 指導

新一年生は小・中いずれも306人
市内の各小・中学校で入学式

市内の小・中学校入学式が4月6日に24校で、4月9日に2校で行われました。

24人が入学した西城小学校では、名越睦子校長が「『あいさつをする』『いい返事をする』『運動をする』『笑顔で仲良くする』『お話を聞く』『あいさつ』『えおを頑張り、一人一人が自分のよいところや持ち味を生かして、『学び』『いっばい』『笑顔』『いっばい』『元気』『いっばい』に大きく伸びていってください』とお祝いの言葉を贈りました。



西城小学校の入学式の様子

平成24年度児童生徒数一覧表

Table with columns for school names, grades (1-6), and total counts for elementary and middle schools.

在校生94人を代表して6年生の柳生ななせさんが「皆さんが入学してくるとの楽しみに待っていました。分からないことは何でも聞いてください。これから一緒に仲良く楽しい学校生活を送っていきましょう」と言葉を述べ、その後、全員で歓迎の歌「1年生になったら(西城小学校バージョン)」を歌いました。

本年度、小学校へ入学した新1年生は市内全体で306人、中学1年生も306人です。

企画課

地元食材を活用した新たな特産品の商品化
技術移転調印式および商品発表会

県立広島大学と和泉光和堂(米麦工房21めぐみ)の共同研究により開発された、庄原市産有色米を全粒利用した糖化液の製造技術の移転調印式とこれを活用した商品発表会が4月12日、食彩館しよばらゆめさくらで開催されました。

この共同研究は、県立広島大学の研究者が所有する知的資源と市内にある地域資源を活用し、研究成果を商品化・事業化へ結び付け、地域へ還元することで地域活性化を図ることを目的に、市が実施している「庄原市県立広島大学研究開発助成事業」を活用して取り組まれたものです。

地元産の有色米(古代米・紫黒米)を活用した新商品「しよばらいろいろむらさきのゆめ」は、小麦粉クッキーやパンに比べ、ポリフェノールや食物繊維を多く含んでいることや、紫の色鮮やかな商品となっていることが特徴で、庄原の新たな特産品として米麦工房21めぐみ(食彩館しよばらゆめさくら内)や国営備北丘陵公園などで、今月から本格的な販売が行われます。

今後も、産学官連携や研究開発助成事業の成果などを活用した新たな商品化・事業化による地域活性化に向けた取り組みを推進していきます。

民課 生活

高齢者の消費者被害の防止を図る
高齢消費者等被害防止講習会



基調講演する庄原警察署の沖田係長

地域で高齢者と日常的に接する機会が多い民生委員児童委員、ケアマネージャー、ヘルパー、ひとり暮らし高齢者等巡回相談員を対象にした「高齢消費者等被害防止講習会」を3月9日、庄原市ふれあいセン

ターで開催し50人が参加しました。市と県が主催するこの講習会は、日常の啓発、被害の発見・通報など、消費者被害の防止のために必要な知識を身に付けてもらうことを目的としています。

まず「悪質商法の手口と被害について」と題して、庄原警察署生活安全刑事課の沖田博泰係長が悪質商法の具体例を挙げながら講演。続いて、「消費者被害の防止と見守りについて」と題して、広島県消費生活課の木村伸一主幹による講演が行われました。

木村主幹は「地域の絆を強くし、お互いに見守りあつていくことが悪質な業者から狙われにくい地域となる」と話していました。

参加者は「具体的な事例を聞いて大変参考になった。訪問の際には、安否の確認だけでなく、こういった事例なども話していかうと思う」と話していました。

下水道課 環境政策課

災害時に迅速適正な対応を図るために
し尿・浄化槽汚泥収集運搬に関する協力協定締結



調印する滝口季彦市長

市は、災害時に被災した家屋のし尿汲み取りや浄化槽の清掃・修繕が行える体制を整えるため3月28日、市内のし尿処理業者5社と災害時におけるし尿などの収集運搬業務にかかる協力協定を締結しました。協

定期期間は平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間です。これにより、協定期間中に災害が発生した場合、設置される災害対策本部によって被災家屋のし尿汲み取り、浄化槽の汚泥収集などの業務が必要と判断された場合、協定業者による応援協力を無償で受けることが可能になります。

市は、今後も災害時に迅速かつ適正な対応がとれるよう体制の整備を進めていきます。

総務課

新しい風を吹き込みます！
新入職員に辞令交付

年度始めの4月2日、庄原市役所で新入職員の辞令交付式を行いました。本年度の採用職員は、男性13人、女性7人の計20人。

式で滝口季彦市長は一人一人に辞令を手渡し、「常に市民の目線に立ち、謙虚な気持ちで仕事に励んでほしい」と訓示しました。

新入職員を代表して、女性児童課に配属された岩木孝憲さんが「全体の



一人一人に辞令が手渡される

最新医療と心休まる空間を備えた新病棟お披露目 REPORT 4 庄原赤十字病院西棟竣工内覧会



▲一期棟(西棟)

増改築工事が進められている庄原赤十字病院の一期棟(西棟)工事が完了し4月21日・22日、新病棟のお披露目となる内覧会が行われました。

この一期棟は、地下1階、地上7階建て。1階は患者数が多い内科が配置され、採血・点滴が行える「中央処置室」を隣接して設置。X線やMRIなどの撮影が行える放射線科が配置されています。2階は外科・泌尿器科・皮膚科・耳鼻咽喉科・婦人科・麻酔科の外来と、臨床検査室、化学療法室で構成。3階は手術室と回復室となっており、手術後スムーズに回復室へ入室することが可能です。4階は療養病棟(41床)で、病院職員や学生が研修や打ち合わせなどを行える空間が併設されています。

5・6階は事務室や会議室といった事務フロア、7階は展望の良い外来食堂となっています。

各フロアとも幅広い通路とゆとりとしたスペースが確保されており、開放感のあるつくりになっています。

内覧会では、同病院の医師や看護師などが、訪れた見学者に部屋の用途や機械設備などを丁寧に説明していました。

見学者は「すばらしい施設。よりよい医療が身近で受けられるのは心強い」と話していました。

なお、新病棟での診察は5月2日から始まっています。



◀さまざまな手術に対応できる手術室



▶ゆとりとした外来フロア(2階)

身近にある“お宝”再発見 REPORT 5 とうじょう里山倶楽部しあわせづくり活動

しあわせづくり活動計画(庄原市地域福祉計画)を推進する「とうじょう里山倶楽部」が3月26日、東城の良いところを発見し楽しもうと、東城町菅にある徳雲寺を訪れました。

とうじょう里山倶楽部は市民約25人で構成し、①東城の自慢を発掘し・創り・広め・お宝にしよう！②ふるさと好きな子どもをみんなで育てよう！③「やってえーや」じゃのうて「やろうや〜」の気持ちがあふれるまちづくりをしよう！④誰でも気軽に集まれる基地を創ろう！を目標に、仲間と一緒に、夢、願い、想いを語りながら、しあわせを感じる活動を計画、実践しています。

当日は一般参加者も含めた36人が、徳雲寺の由来や歴史の講和を聞き、坐禅を体験。また、付近に住み着いた鬼が使ったとされる「鬼臼(おにうす)」を見学したり、周

辺の山野草観察を行ったりと、身近にあるお宝を楽しく発見、再認識する一日となりました。



▲徳雲寺に伝わる「鬼臼」を見学する参加者

鉄板のように熱くご当地お好み焼きをPR REPORT 1 広島てっぱん同盟が結成



▲あいさつする西田会長

「広島てっぱん同盟」を結成し、その調印式が行われました。

この広島てっぱん同盟は、お好み焼きにかかせない「鉄板」をキーワードに、それぞれのご当地お好み焼きを広くPRし、地域を盛り上げようと結成されたもので、庄原焼きプロジェクト会議の西田学会長の呼びかけで実現しました。当日は、湯崎英彦広島県知事をはじめ、約

50人の関係者が出席。庄原からは矢吹有司副市長をはじめ、庄原焼きプロジェクト連絡会議のメンバー9人が結成式に臨みました。

今後は、同盟団体の連携を深めるとともに、ご当地お好み焼きを通して地域の魅力を全国に発信していきます。



▲報道陣へ意気込みをPR

事故防止にはより一層の安全意識を REPORT 2 庄原市「高齢者交通安全大会」が開催

4月6日から15日までの「春の全国交通安全運動」の一環として4月9日、庄原市「高齢者交通安全大会」が庄原市ふれあいセンターで開催されました。

この大会は、市、庄原地区交通安全協会、庄原警察署、庄原市老人クラブ連合会が合同で主催したもので、近年、高齢者の人傷交通事故が増加している現状から、一層の安全意識の高揚と普及を図り、高齢者の交通事故防止を目的で開催されました。

当日は、老人クラブの交通安全指導員など約150人が参加。庄原警察署の谷野秀行交通課長による「高齢者事故の現状と対策」と題した講演の中で、飲酒運転の

危険性を訴える寸劇が披露されました。また、夜間には反射材がとても有効であると実演を交えて説明し、着用を呼びかけました。

最後に、庄原地区交通安全協会の谷口寿太郎会長が交通安全宣言を行い、交通事故のない、安全で快適な庄原市の実現を目指すとの思いを再確認しました。



▲交通安全協会による寸劇

春のまちなみの雰囲気味わいに多くの人 REPORT 3 東城まちなみ春まつり

4月17日から23日にかけて、夢街道ルネサンス認定地区「街道東城路」の約600mの区間で、各家に伝わるひな飾りなどが華やかに並ぶ「東城まちなみ春まつり」が開催されました。

期間中には市街地の桜も満開となり、三楽荘の見学やスタンプラリー、ひな飾りの展示を楽しむ多くの人でにぎわいました

オープニングセレモニーでは、子ども神楽や比婆荒神神楽の上演、土・日には、三楽荘で琴の演奏、東城まちなみ交流施設「えびす」の野外ステージでは、吹奏楽、ギ

ター、和太鼓などの演奏で盛り上がりしました。訪れた人は風情ある東城のまちなみの雰囲気を感しながら、春の一日を満喫していました。



▲三楽荘での琴演奏

▲子ども神楽がオープニングを飾る

自分たちのまちは自分たちできれいに 口和中柔道部員が清掃作業

REPORT 8

口和中学校の柔道部員4人が3月28日、顧問の吉津宏子教諭と一緒に、登下校ルート沿いのごみ拾いを行いました。

同部員は登下校中、ゴミがひどく散らかっているのに気づき、きれいな口和であってほしいとの思いから、自分たちで自らゴミを拾いたいと行動に移しました。

当日は、永田のハートウイングを出発し、永田市場から大塩方面約1*にわたり、2時間30分かけて空き缶やビニールごみなどを拾い歩きました。

部員たちは「地域の方から『ありがとう』と声を掛けてもらった時はとても嬉しかった。清掃作業をしなくていい環境になってほしい」と話していました。



▲率先してごみ拾いを行う柔道部員

かかりつけ医として頑張ります! 総領診療所に舩田医師が赴任

REPORT 9

国民健康保険総領診療所の所長として赴任した舩田裕道医師が、4月2日から診療を開始しました。

5年間勤務した永井道明前所長の後任となる舩田医師は広島市出身。平成21年4月から本年3月までの3年間、庄原赤十字病院で内科医として勤務経験があり、本年度から自治医科大学からの派遣医師として、総領地域の医療を担います。

診療は、高血圧・高脂血症・糖尿病などの生活習慣病の管理を中心に、内科一般、予防接種、往診などを行います。

舩田医師は「かかりつけ医として地域のニーズに応え

られるよう、スタッフ一同頑張っていきたいと思います。気軽にいろいろとご相談ください」と話しています。



▲診察する舩田裕道医師

世代間でふれあい交流 比和保育所でひなまつりお茶会

REPORT 10

「ひなまつりお茶会」が3月2日、比和保育所で行われ、園児32人と園児の祖父母や地域の方など28人が参加し交流を深めました。

当日は年長児10人が、地域の茶道講師堀江ミツコさんから、お茶席での歩き方やおじぎの仕方などの作法を教わり、実際にお茶運びを体験しました。

園児たちは、お茶会の雰囲気緊張した面持ちで、お盆にのせたお茶や菓子を小さい組の園児やお客さんに運んでいました。

その後、みんなで一緒にひなまつりの歌を歌い、こま回しやあやとり、お手玉などを楽しみました。

抹茶を飲んだ園児は「ちょっと苦かったけどおいしかった」と話し、参加した皆さんは「おじぎが上手で子どもたちがかわかった」「毎年ひなまつり会が楽しみです」と喜んでいました。



▲園児たちのお点前になっり

晴れの日の装いを再現 しあわせ館まつりでファッションセラピー

REPORT 6

庄原市西城保健福祉総合センターしあわせ館で4月15日、第13回しあわせ館まつりが開催されました。

しあわせ館まつりは、しあわせ館で活動しているボランティアグループなどが、日ごろの活動の成果を発表する展示やバザーなどを行う手づくりのイベントです。

今年は、装うことによる心身の活性化効果が期待されている「ファッションセラピー」に注目。晴れの日の装いである結婚式が、伝統的な祝言行列と現在の洋装の結婚式、2つスタイルで再現され好評を博しました。

地元の唄い手によって伝統の長持唄が唄われる中、しあわせ館のステージに祝言行列が入場すると、400人の来館者は100年前の祝言の雰囲気うっとり浸っていました。

この催しは、しあわせ館を利用している高齢者がモデルとなり、地元の美容院などの協力も得て実現したもので、洋装結婚式の新郎新婦の年齢は、合わせて170歳でした。

しあわせ館まつり実行委員会の小谷勝行委員長は

「美しく装うことで背筋が伸び、表情が生き生きと若返っていくのを見て、ファッションセラピーの効果を実感した。生きがいつくりの活動に取り入れていきたい」と話していました。



▲好評だった高齢者モデルの祝言行列

地元特産品を広くPR 「高野の逸品2012春編」パンフレットが完成

REPORT 7



▲パンフレットの完成を喜ぶ委員会のメンバー

地元特産品を知ってもらい地域経済の活性化を図ろうと、「高野の逸品100プロジェクト委員会」が、高野地域の農産物などを活用した特産品「高野の逸品」を紹介したパンフレットを作製しました。

同委員会は、平成25年春の中国横断自動車道尾道松江線の開通や、高野観光交流ターミナル「道の駅」(仮称)の開業を見据え、「高野の逸品」を100アイテムそろえようと、昨年5月から活動を開始。広島県の未来創造事業などを活用し、商品開発や商品改良、テスト販売などを進めています。今回は、その中で「高野の逸品」として認証した28アイテムとともに、四季折々の高野の表情や生産者情報をパンフレットに詰め込みました。

編集した地域おこし協力隊の檀上理恵さんは「手間を惜まず、安全・安心にこだわった商品ばかり。その作り手の思いが消費者に届いてほしい」と話しています。

A4サイズ・フルカラーの8ページで、百貨店のギフトカタログのように上品に仕上がったパンフレット。今後、市内観光施設などに配布される予定です。



▲完成したパンフレット

生活相談

身体障害者補装具判定会
〔肢体〕 5月17日(木)
受付 13時～14時
ところ 広島県三次庁舎第3庁舎2階
三次市十日市東4-6-1
※1週間前までに社会福祉
課障害者福祉係へ予約を。
☎0824-73-1210

人権相談(特設)

各地域で人権擁護委員が
相談に応じます。
●庄原地域
とき 5月15日(火)・6月5日(火)
13時30分～16時30分
ところ 庄原市ふれあいセンター

西城地域

とき 6月14日(木)
13時30分～16時30分
ところ 西城自治振興センター
●東城地域
とき 6月7日(木)
13時30分～15時30分
ところ 東城ふれあいセンター

●口和地域
とき 6月7日(木)
13時30分～16時30分
ところ ヒューマンライツ

●高野地域
とき 6月12日(火)
13時～15時
ところ 高野支所

●比和地域
とき 6月1日(金)
13時30分～15時30分
ところ 比和文化会館

総領地域

とき 6月13日(水)9時～11時
ところ 総領町健康福祉センター
問い合わせ
三次人権擁護委員協議会
☎0824-62-2572

定期巡回児童相談

北部子ども家庭センター
が子育てに関する相談に応
じます。
●庄原地域
とき 5月17日(木)・6月21日(木)
10時～15時
ところ 庄原市ふれあいセンター
※1週間前までに女性児童課
女性子ども支援係へ予約を。

●東城地域
とき 5月25日(金)・6月22日(金)
10時～15時
ところ 東城支所
※1週間前までに東城支所
市民生活室へ予約を。
☎08477-2-5131

障害者相談員定期相談会

●「庄原地域」
○身体
とき 6月11日(月)
13時30分～16時30分
ところ 庄原市ふれあいセンター
◆「東城地域」
○身体・知的
とき 6月15日(金)
10時～12時
ところ 東城支所

高野福祉保健センター

◆「比和地域」
○身体・知的
とき 6月13日(水)
9時30分～12時
ところ 高野福祉保健センター
◆「比和地域」
○身体・知的
とき 6月5日(火)
9時30分～12時

ところ 比和自治振興会館
※事前予約もできます。
問い合わせ
社会福祉課障害者福祉係
☎0824-73-1210

健康相談

広島県北部保健所(三次
市十日市東)で実施する健
康相談です。事前に電話で
ご予約ください。秘密は厳守
します。
○心の健康相談
ストレス、うつ病などの心
の健康に不安のある方やそ
の家族からの相談に応じま
す。
とき 5月15日(火)・6月19日(火)
13時～14時
○エイズ検査・相談
検査は無料・匿名で受けら
れます。結果はその日にお知
らせできます。相談は随時
受け付けています。
とき 6月13日(水)
6月13日(水)
13時～14時30分
申し込み・問い合わせ
広島県北部保健所保健課
☎0824-63-5181

催し

2012健康福祉まつり

「笑顔あつまれ!」げん
きと「やすらぎ」のまち
しようばら」をテーマに今
年も健康福祉まつりを開催
します。
屋外会場では、市民団体
による元気いっぱいのス
テージ発表や、おいしい飲
食店バザーでにぎわいま
す。屋内会場も各種展示・バ
ザーや健康チェックコー
ナーなど盛りだくさん!!
家族の健康と福祉につい
てみんなで一緒に考えてみ
ませんか。お誘い合ってご
来場ください。
とき 5月20日(日)
9時～14時30分
ところ 庄原市総合体育館、庄原市
保健センターほか
問い合わせ
保健医療課国保年金係
☎0824-73-1158

庄原市小学校陸上競技記録会

市内19の小学校4・6年
生が参加し、100m、80m
ハードル、800m、走り幅跳

ところ 庄原市民会館
問い合わせ 建設課管理係
☎0824-73-1150

比婆山山開き

古事記の里の夏を告げる
比婆山山開きです。
夏山登山の安全祈願神事
や神楽、田植踊り、西城川太
鼓などのイベント、会場では
特産品の販売や比婆牛の
バーベキューも楽しめます。
とき 5月27日(日)11時～
ところ 竜王山駐車場(西城町)
問い合わせ
西城町観光協会
☎0824-82-2727

国定公園 吾妻山山開き

草花の宝庫「吾妻山」の山
開きは、初夏の吾妻山を彩
る県民謡「ばい流し」などの
イベントをはじめ、比婆牛も
もの丸焼き、各種バザーなど
のコーナーもあります。高原
のさわやかな風を感じにお
越しください。
とき 6月3日(日)10時～
ところ 吾妻山
問い合わせ
比和支所産業建設室
☎0824-85-3000

このコンサートは、世界平
和のメッセージを発信し、国
際拠点ひろしまの創造を目
指して行う「平和発信コン
サート」のプレイベントとし
て開催します。
第一部は、サン・サ・サ・ス
作曲の「ヴァイオリン協奏曲
第3番」を、岡山県在住の
ヴァイオリニスト福田廉之介
さんと広島交響楽団がジョ
イントします。
第二部は、ドヴォルザーク
作曲の「新世界」を広島交響
楽団がフルメンバーで演奏し
ます。多くの皆様のご来場
をお待ちしています。
とき 6月30日(土)
15時～(14時30分開場)



広島交響楽団

ところ 庄原市民会館
入場料 一般 3千円
(当日3千500円)
高校生以下 無料
※友の会会員割引は適用に
なりません。
※未就学児の入場はご遠慮
ください。(要予約の託児
サービスをご利用ください。)
前売券発売所
庄原市民会館、ジョイフル
ザ・ビッグ庄原店、食彩館ゆめ
さくら、三次サンタリオン、C
Cプラザ
問い合わせ
庄原市民会館
☎0824-72-4242
生涯学習課文化振興係
☎0824-73-1189

太鼓ライブ東城

迫力満点の和太鼓演奏を
お楽しみください。
とき 6月2日(土)
13時～15時
ところ 田森自治振興センター
入場料 1千円
(当日1千500円)
※中学生以下は無料
問い合わせ
鬼神太鼓(ありす工芸)
☎08477-2-2426

レガロフェスタin「水夢」

西城温水プール「水夢」全
館を利用した、多彩なアトラ
クションや教室、西城ならではの
産物や水夢オリジナルグッズ
を集めたバザーなどを開
催します。
とき 6月3日(日)
10時～15時
ところ 西城温水プール「水夢」
問い合わせ 西城教育室
☎0824-82-2445

時悠館春の企画展開催中

●「縄文時代の考古学―帝
釈峡遺跡群と中国山地の縄
文社会―」

とき 6月24日(日)まで
●春の企画展開催記念講演
会
とき 5月26日(土)
14時～15時30分
講師 中越利夫 時悠館所長
演題 「帝釈峡遺跡群の調
査50年」
●戸井利彦 日本画展
―風のひびき―
庄原市高町在住の日本画
家 戸井利彦さんが、里山の
風景を精緻な筆致で描いた
作品を36点展示します。
とき 6月24日(日)まで
問い合わせ 時悠館
☎08477-6-0161

平成24年度土砂災害防止
県民の集い

6月は「土砂災害防止月
間」です。土砂災害から自分
を守り、暮らしを守るため、
土砂災害について理解と関
心を深めることが大切です。
土砂災害に関する講演や
事例報告、パネル展示を行
います。災害に対する備えを
みんなで考えてみましょう。
とき 6月8日(金)
13時30分～16時30分(13時
開場)

募 集

庄原市成人式
実行委員募集

市は、8月15日(水)10時から庄原市民会館で開催する「庄原市成人式」の企画・運営を一緒に行う実行委員を募集します。成人対象者で、成人式の企画・運営に関心があり、実行委員会に参加できる人をお待ちしています。お気軽にご参加ください。

対象者 平成4年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた、市内在住の人または市外に住む庄原市出身の人。
問い合わせ 生涯学習課社会教育係
☎0824-73-1188
Eメール syogai-syakai@city.shobarahiroshima.jp

庄原市スペシャル
合唱団員募集

**宝くじまちの音楽会
南こうせつコンサート**
市は8月7日(火)に南こうせつさんを迎えてコンサートを開催する予定です。

このコンサートで、南こうせつさんと一緒に合唱する市民合唱団員を募集します。共演は2曲を予定しており、主に個人練習をしていますが、だくことになりませんが、2回程度の合同練習を予定しています。

多くの皆さまのご応募をお待ちしています。
募集期間 5月10日(木)～30日(水)
応募人数 80人
応募条件 小学生以上の市内在住または市内に勤務している方で、2回程度の全体練習に参加できる方。個人、グループは問いません。小学生の場合は、保護者の同伴および送迎をお願いします。

申し込み方法 個人参加の方は、氏名住所・年齢・電話番号、グループ参加の方は、グループ名代表者氏名住所、連絡先参加人数・参加者全員の氏名・年齢を明記の上、生涯学習課にお申し込みください。
なお、申し込み多数の場合は、抽選になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

申し込み・問い合わせ
生涯学習課文化振興係
☎0824-73-1189
FAX 0824-73-1254

求職者支援訓練生募集

ばるキャリアスクール三次校では、雇用保険を受給できない求職者などを対象に、厚生労働省の認定を受けた職業訓練を実施しています。平成24年6月訓練生を募集します。

募集内容

- 訓練科名 経理実務科【実践コース5カ月】
※認定番号 4-23-34-02-03-0266
- 訓練期間 6月20日(水)～11月16日(金)
- 訓練時間 9時30分～16時10分
- 訓練科目 学科:会計基礎、商業簿記基礎・応用、工業簿記、職業人講話、安全衛生、職業能力開発基礎講習
実技:パソコン基本操作、給与・年末調整、パソコン会計
- 受講料 無料(教材費8,525円程度必要)
- 定員 15人
- 申込締め切り 5月25日(金)

選考方法など

- とき 5月31日(木) 10時～
- ところ ばるキャリアスクール三次校
- 選考方法 面接・筆記試験
- 結果通知日 6月5日(火)

まずは住所を管轄する公共職業安定所(ハローワーク)へご相談を!
※ハローワークへお問い合わせの際には、認定番号をお伝えください。

訓練内容に関するお問い合わせ

ばるキャリアスクール三次校 ☎0824-64-7654
〒728-0014 三次市十日市南1丁目4-5ステーションプラザビル2階

申し込み・問い合わせ
生涯学習課文化振興係
☎0824-73-1189
FAX 0824-73-1254

高原の家七塚
イベント参加者募集

●薬草探検と薬膳料理
七塚原に自生している薬草の観察と健康薬膳料理の作り方を学びます。

とき 6月2日(土)～3日(日)
1泊2日
ところ 高原の家七塚
講師 安田女子大学薬学部教授 神田博史さん
薬膳料理アドバイザー 木元典子さん
対象者 成人男女
募集人数 50人

参加費 8千円
申込締め切り 5月26日(土)
申し込み・問い合わせ
高原の家七塚
☎0824-75-2033
FAX 0824-74-0827



戦没者慰霊巡拝事業の実施

国は、昭和28年から戦没者の遺骨収集に努めています。しかし、すべての遺骨を完全に収集することは事実上不可能なことから、遺族のご要望に応えるため、旧主要戦域となった陸上や遺骨収集の望めない海上などで戦没者を慰霊巡拝する事業を行っています。

この事業に参加を希望する方は、ご相談ください。
対象者 次の基準で選ばれた方
①慰霊巡拝を行う戦域における戦没者のご遺族(配偶者(再婚した方を除き)・父母・兄弟姉妹)など
②その他、健康状態など

対象地域
【旧ソ連】イルクーツク州/ザバイカル地方/ハバロフスク地方/沿海地方
【中国】東北地区
【南方】東部ニューギニア/ボルネオ/トラック諸島/マリアナ諸島/フィリピン/マーシャル・ギルバード諸島/硫黄島

参加費用 所定の計算による旅費。そのうち1/3が補助されます。
問い合わせ 社会福祉課障害者福祉係
☎0824-73-1210

その他

水道週間
「さあ今日も 水と元気が 蛇口から」をスローガンに、6月1日から7日までの

一週間、全国一斉に水道週間が実施されます。
この運動は、市民の皆さんに水道に対する理解と関心を高めてもらい、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るとともに、水道事業をより発展させることを目的としています。
私たちの日常生活に欠かせない、安全でおいしい水が、水源から蛇口まで届く「水道」について考えてみましょう。
問い合わせ 水道課庶務係
☎0824-73-1197

農業用施設の維持管理記録を整理しましょう

日ごろから農業用施設(農道・水路・ため池など)の適正な維持管理に努めることはもちろんですが、万一災害が発生した場合に備えて、農業用施設の維持管理記録簿の整理をお願いします。
国から農業用施設の災害復旧認定を受けるためには、施設の適正な維持管理と点検記録簿の整理に加え、維持管理作業写真が必要となります。これらの資料がすべて整理されていないと、国の

平成24年度 標準農作業料金

(1袋は30kg・消費税込み)

作業区分	単位	条件など	金額	備考
農作業賃金 (賄いなし)	1日	男女共実働8時間	8,000円	
	1時間	男女共	1,000円	
耕起	10a	通常	7,200円	
代かき	10a	植代かき	11,000円	※1
		荒がき	3,400円	※2
田植機	10a	手直しなし	7,200円	
防除	10a	農薬代は別	2,100円	
コンバイン	10a	一連作業	23,500円	※3
乾燥調整	1袋	うるち生もみ	1,260円	水分25%まで
調整のみ	1袋	うるちもみ	700円	
		もちもみ	1,000円	
もみ殻処理	1袋		10円	
もみ運搬料	10a	バラもみ	3,500円	

※1 植代かきとは、田んぼを田植えができる状態までかく作業をいいます。
※2 荒がきとは、植代かきの日以前に、軽く代かきする作業をいいます。
※3 秋の収穫作業において、倒伏・強湿田は追加料金が必要となる場合があります。実際の運用では、地域差、作業時間などを考慮して双方でよく話し合ってください。

問い合わせ 農業委員会事務局 ☎0824-73-1133

災害査定時に採択されないことがあります。
なお、点検記録簿の参考様式は農村整備課または各支所環境建設室・産業建設室に

あります。また市のホームページにも掲載しています。
問い合わせ 農村整備課耕地係
☎0824-73-1136

花の広場

花の広場では「花で花を描いた花」子かだん」をお楽しみただけです。公園に咲く季節の花「スイセン」「サクラ」「チューリップ」「ヒマワリ」「コスモス」と、庄原の「セツブンソウ」「フクジュソウ」をキャラクターに見立て、このイラストをピオラやチューリップで色分けして表現しました。かわ

初夏の花咲く公園

4月下旬～6月上旬

問い合わせ 備北公園管理センター 0824-72-7000

備北丘陵公園 だより



アイランドポピー

いらしい表情をぜひご覧ください。 今年は新たに「ネモフィラの丘」が新登場します(第2駐車場から徒歩3分)。 淡いブルーの花が愛らしいネモフィラの花景色も、どうぞご覧ください。 ●主な花の見ごろ ネモフィラ 30万9千本 4月下旬～5月下旬 ワスレナグサ 11万1千本 4月中旬～6月中旬 ハナビシソウ 11万5千本 5月中旬～6月上旬 アイスランドポピー 10万2千本 5月上旬～6月上旬



ネモフィラ

古代たたら 鉄づくり体験

5月12日(土)～13日(日) 古代から伝わる製鉄技法を再現するイベント「古代たたら鉄づくり体験」を開催します。 さとやま古代たたら倶楽部の皆さんをはじめ、各地からの参加者と共に、真っ赤に焼けた鉄の塊(ケラ)を産み出す一連の工程を体験してみませんか? 詳しくは管理センターまでお問い合わせください。



平日サイクリングのススメ

貸自転車1日乗り放題 キャンペーンを実施しています。お気軽にのり場所を巡る『ポタリング(自転車散歩)』をお楽しみください。 2時間までの基本料金で、1日自転車乗り放題です。 ●料金 大人250円 小人100円 ※電動アシスト自転車、オートビレッジ貸自転車は対象外 ●キャンペーン対象期間 4月3日～11月30日および平成25年3月1日～31日の平日のみ ※イベントの開催日程は、ホームページまたは電話でお問い合わせください。

Advertisement for 庄原セレモニー 葬祭サービス (Seiran Ceremony Funeral Service) with contact number 0824-72-1417.

Advertisement for 一人でも悩まないで まず相談してください (Don't worry alone, please consult first) for legal services, contact number 0824-72-2315.

Advertisement for 県大会など (Prefectural Competition etc.) for the 庄原 (Shiobara) festival, featuring various categories like 演技競技 (Performance Competition) and 試合競技 (Tournament Competition).

Advertisement for あっぱれ 庄原 (Ahh! Shiobara) featuring a character mascot and information about national and prefectural level events.

Advertisement for 本年度は浄化槽の効率化検査の年です (This year is the year for sewage treatment tank efficiency inspection). Includes contact info for 0824-73-1175 and a mascot character.

Results for 庄原市文芸大賞 (Shiobara City Literary Award) for the 2012-2013 period, listing winners in various categories like 小学生以下の部 (Elementary school division) and 中学生男子の部 (Middle school boys division).

Results for 庄原市文芸大賞 (Shiobara City Literary Award) for the 2013-2014 period, listing winners in categories like 小学生以下の部 (Elementary school division) and 中学生男子の部 (Middle school boys division).

お詫びと訂正 (Apology and Correction) regarding a correction in the 4th page of the 2012-2013 Shiobara City Literary Award results.

植原 初枝 (短歌・高野町) 八谷 賀代 (短歌・高野町) 池上恵美子 (俳句・高町) 横山 悦生 (俳句・市町) 中原 幹枝 (川柳・新庄町) 城田 一雄 (川柳・川手町)

Advertisement for 住友不動産の「新築そっくりさん」 (Sumitomo Real Estate's 'Newly Built So-kuri-san') featuring a renovated old house and contact information for 0120-356-218.

人の動き

平成 24 年 3 月末日現在

[住民基本台帳登録人口]

人口 39,533人(前年比-693人)
男 18,781人(前年比-345人)
女 20,752人(前年比-348人)
世帯数 15,854世帯(前年比-124世帯)

[外国人登録人口]

○人口 315人(前年比-7人)

ふれあい市長室の日程

☎情報政策課広報広聴係 ☎0824-73-1159

とき 6月10日(日)9時~12時

ところ 本庁3階 市長室

※公務により実施できない場合もあります。
※道路の改良・維持・修繕などの要望、陳情は、事業担当課へお願いします。

市役所ロビーコンサート

☎生涯学習課文化振興係 ☎0824-73-1189

とき 5月28日(月)12時15分~55分

ところ 市役所1階市民ホール

出演者 川口 文(チェロ)
戸田 真理(ピアノ)
曲目 サン・サーンス作曲「白鳥」・
ヘンデル作曲「ラルゴ」ほか

川口 文(あや) 京都市立芸術大学音楽学部卒業。「黒沼俊夫と若きチェリストたち」の公演に出演するほか、広島アカデミー合奏団定期演奏会でJ.C.パッハのチェロ協奏曲を協演する。現在、広島アカデミー合奏団員。両親が庄原市出身。

戸田 真理(まこと) 京都市立芸術大学音楽学部ピアノ科卒業。米国ワイオミング州立大学大学院に3年間在籍。1992年ドロシー・A・アンダーソン国際ピアノコンクール(米国)で第三位に入賞。現在、広島文教女子大学非常勤講師ほか。

市税・水道料金・下水道使用料納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。

※残高確認も忘れないでください。

- 税務課収納係 ☎0824-73-1145
- 下水道課管理係 ☎0824-73-1175
- 水道課庶務係 ☎0824-73-1197

広報日記

期待を胸に庄原赤十字病院一期棟の内覧会に行きましたが、予想以上のものに思わず「お～、ほ～」と声を上げていました。最新医療機器や各室の設備などはもちろんですが、特に、患者さんが快適に受診できるよう考えられた、ゆったりとした空間が好印象でした。市内でよりよい医療が受けられることは私たちの願いです。今後整備される二期棟や隣接して整備が予定されている休日急患センターにも注目したいと思います。(奥)

犬・猫の引き取り

☎環境政策課 ☎0824-72-1398

5月・6月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。
なお、手続きには認印が必要ですので、持参してください。

	引き取り日	時間	場所
庄原地域	毎月第2・4水曜日 5月9日・23日	9:00~ 9:30	市役所車庫
東城地域	6月13日・27日	10:40~11:10	東城支所 正面駐車場

※飼い犬・猫の引き取りは有料です。

献血のご案内

☎保健医療課医療予防係 ☎0824-73-1155

献血をつぎのとおり実施します。皆様のご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
5月29日(火)	広島県立農業技術大学校	10時~11時30分
5月29日(火)	土井木工(株)庄原工場	13時30分~15時
6月4日(月)	比和文化会館	11時30分~15時

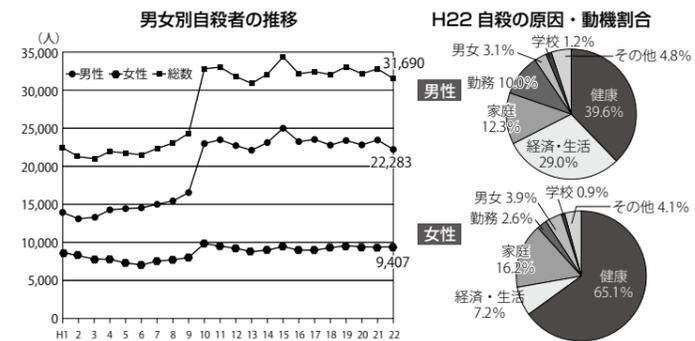
男女共同参画コーナー

☎女性児童課 ☎0824-73-0051

自殺者の男女比=男性7:女性3 男性にとっての男女共同参画

年間3万人を超える自殺者のうち、平成22年では男性が22,283人、女性が9,407人と7割以上を男性が占めています。また、その原因として、男性は女性に比べ「経済・生活」「勤務」の問題が大変多く、仕事や経済的な負担が男性に偏っていると考えられます。

男性自身も「男は弱音を吐いてはいけない」「男は仕事」という意識に縛られることなく、男女が共に支え合いながら、生きやすい社会を作っていきたいですね。



配偶者や恋人からの暴力・暴言などで悩んでいませんか?
あなたの不安な気持ちをお話ください。
〈〈家族や友人が心配な方もご相談できます。〉〉

庄原市役所 女性児童課 女性子ども支援係
☎0824-73-1243(月~金 9:00~17:00 年末年始・祝日除く)

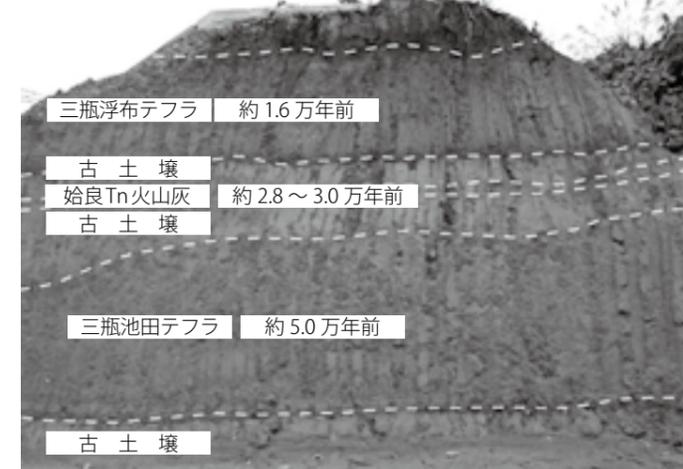
広島県西部子ども家庭センター	☎082-254-0391	月~金 10:00~17:00
	休日夜間電話相談 ☎082-254-0399	月~金 17:00~20:00 土日祝 10:00~17:00
広島県北部子ども家庭センター	☎0824-63-5181 (代)内線2313	月~金 10:00~17:00

比和自然科学博物館

☎0824-85-3005

開館 9時~17時(年末年始休館)

地質のはなし



いつも皆さんが踏みしめている地面ですが、その下はどうなっているのでしょうか?

庄原市の北部に位置している高野、西城、比和地域は、島根県大田市に位置している三瓶山の火山噴火物が多量に堆積している地域として知られています。

この地域でよく見られる黒ボク土は、約1万年前から数千年前に降った三瓶の火山灰とその風化土壌です。さらにその下は、吉備土と呼ばれる土が堆積していて、これも三瓶の火山噴火物と言われています。約1万6千年前に降ったとされる三瓶浮布火山灰(テフラ)、約5万年前に降ったとされる三瓶池田火山灰(テフラ)がこれに当たります。約3万年前には鹿児島から火山灰が降ってきた(始良Tn火山灰)こともわかっています。そして、そのさらに下の地層には鯨などの化石が眠っています。

普段は何気なく踏みしめている地面は、実はこのような状態になっています。

7月には、このような化石や岩石のことを分かりやすく展示する「地学分館」がオープンしますので、皆さん楽しみにしておいてください。

休日診療のご案内

5月・6月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原地域		
月日	診療所名	電話番号
5月13日(日)	戸谷医院	0824-72-3131
20日(日)	児玉医院	0824-72-0147
27日(日)	林医院	0824-72-0121
6月3日(日)	庄原赤十字病院	0824-72-3111
●東城地域		
月日	診療所名	電話番号
5月13日(日)	こぶしの里病院	08477-2-5255
20日(日)	細川医院	08477-2-0054
27日(日)	東城病院	08477-2-2150
6月3日(日)	こぶしの里病院	08477-2-5255

市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX

★6月の展示案内★ 脇坂より子呼織工房作品展

8日(金)~10日(日)10時~17時

☎庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453

☎商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1178

※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料はおりません。

食彩館しょうばら ゆめさくら ☎0824-75-4411

【5月~6月のイベント情報】

▶ゆめさくら講座

○かずら教室

「取っ手付きかごを編む」

とき 5月18日(金) 9時30分~12時

参加費 2,300円 定員 15人

○草木染め教室

「エプロンを染める」

とき 5月28日(月)

朝の部 9時30分~12時

昼の部 13時30分~16時30分

参加費 4,900円 定員 各10人

▶展示・その他

○山野草展示会

とき 5月11日(金)~13日(日)

○ステンドグラス展

とき 5月16日(水)~27日(日)

○糎料理教室

とき 5月30日(水) 13時~15時30分

定員 10人

しょうばら九日市

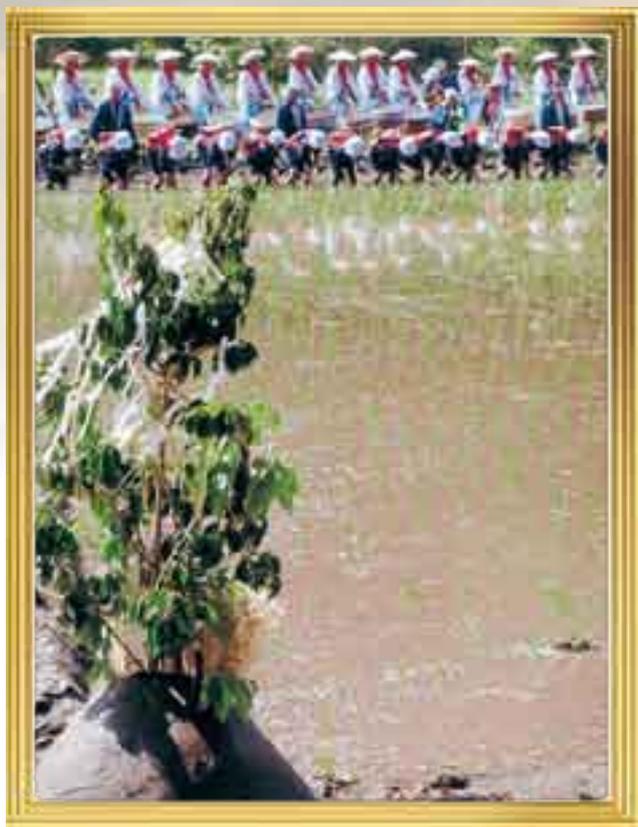
毎月9日は、しょうばら九日市

出店者募集中!あなたのお店を開こう。
毎月20日が出店申込締め切りです。
申し込みは 交流サロンラッキー

☎0824-72-0075

6月 とき 6月9日(土)10時~14時
ところ 中本町商店街周辺
(のぼりが目印)

詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.main.jp>



(平成22年5月30日撮影)

Vol.35

塩原の大山供養田植



SHOBARA HYAKKEI

過疎の村とはいえ田植えの季節になると「サ」の付く言葉でにぎやかになります。

桜、早乙女、早苗、五月、五月雨…

「サ」は日本古来の田んぼの神様を意味するとか。かつてはどこでも田の神サンバイを迎えて田植えが行われていたという。

東城町塩原の大山供養田植では、今でも田の窪隅にサンバイの森(祠)をつくり、田の神を迎えて田植えが行われています。早乙女とサゲの若者たちの清楚な姿が印象的です。

「しよらばはこの田を浄めて何をする

高柴 順紀(東城町)

田の神様を迎えるよ」

応募方法

写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景を写真で紹介してください。また、この写真への思いや撮影エピソードなどを200字程度にまとめ、郵送またはメールでご応募ください。

応募先

〒727-8501

庄原市中本町一丁目10番1号

庄原市情報政策課広報広聴係

☎0824-73-1159

メール koho@city.shobara.hiroshima.jp

庄原産の食材を扱うお店を応援します！



スターダスト



所 板橋町 167-1
☎ 0824-72-1130
営 8:00 ~ 23:00
休 年中無休(不定休)
HP <http://ameblo.jp/stardust-1130/>
(店長ブログ)

取り扱う市内産食材
米・野菜



★店長の水上晋一さんに聞きました★

- なぜ、地産地消推進店に登録しようと思ったのですか？
祖母の家が農家で、米や野菜と一緒に作っています。安全でおいしい食材が利用できるの、皆さんに食べていただきたいと思います。
- お店のこだわりは？
浜田と尾道の魚や干物・イケスの活魚貝類、モーニングやランチもあり、朝から夜まで利用できます。

また、日本酒(10種)、焼酎(50種)、梅酒(30種)と多数そろえています。自家製の食材とともにご賞味ください。

●皆さんへひと言

魚料理を中心に、おいしい料理・めずらしい酒類をたくさん用意しており、2~40人までの宴会もできますので、ぜひお越しください。ブログには、仕入れ状況なども書いておりますので、ご覧ください。



スターダスト御膳(デザート付)

『庄原市地産地消推進店』に登録しませんか？ 市は随時、地産地消推進店を募集しています。詳しくは、保健医療課健康推進係(☎0824-73-1255)まで。